昭和23年3月24日第三種郵便物認可
昭和29年8月28日日本國有鉄道特別扱承認雑誌第2516号
縣民の友
昭和32年2月1日　第235号

縣民の友
発行所
和歌山市小松原通1丁目
和歌山県
毎月1回1日印刷発行
定価　1部2円50銭

旧県庁跡に「経済センター」
商工業振興の中心
地上五階、地下一階　近くお目見え

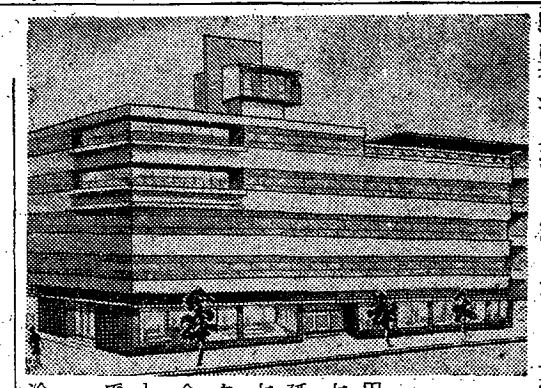
県内経済界の発展に大きな役目を果たしていた和歌山城内県商品陳列所が戦禍によって焼失して以来、永年の懸案であった「和歌山県経済センター」は、地上五階、地下一階の堂々たる姿で、和歌山市打公園（旧県庁舎跡）に近くお目見えすることになった。

この経済センターは、ただ商品の陳列だけでなく、生産の指導や販路の開拓、商品の管理、デザインの研究及び顧下各業界の商談所、社交場など総合的な商工業の振興施設となるもので文字どおりの「経済センター」である。

◇……工費は一億三千八百万円、敷地は三百七十五・六坪、延建坪九百六十七坪の鉄筋コンクリート造り、全館ガラス張りという近代建築である。

◇……全館に冷房、暖房の設備をし、換気装置もする。電話交換室、公衆電話室をおき、エレベーター、館内放送の設備をする。舞台照明、映写設備、車庫、テレビ、火災自動報知機も備える。

◇……各階の予定施設として地階は食堂、浴室、電気室、冷暖房機械室。一階は一目でわかる県物産の展示場、事務室、九百人を収容する大ホール。二階は銀行と経営者の協会および映写室、小ホール、中小企業相談室。三階はロビー、八十人収容の中会議室、三つの商談室。四階は小会議室と兼用の大会議室商工業の研究室、産業図書館。五階は貸事務所五室、食堂、能率研究所。屋上には広告塔、時計塔を設ける。


―ガットは完成想像図

力強く「頑張ります」
成人の日　優秀成人18人を表彰

成人の日の一月十五日、今年も希望に燃えて新しく成人となった県下一万四千七百五十六人の"はたちの門出"を祝福した。この日、各市町村とも成人を祝いはげます多彩な行事や催しがくりひろげられたが、県では午前十時から正庁で成人体力健康検査の優秀者、小谷君ら男女各九名の表彰式を行なった。前田県衛生部長から記念品が贈られたが十八名の若人たちは「期待に応え今後も頑張ります」と力強く答えた。

なお、表彰をうけた者は次のとおり（太字は所轄保健所）

和歌山市保健所―小谷牛弘、大野愚美（以上和歌山市）高野口保健所―池宮秀旭（高野口町）岡崎勝子（九度山町）岩出保健所―大宝俊彦（岩出町）南静美（貴志川町）海南保健所―浜端久也（下津町）東山貞美（海南市）湯浅保健所―酒井進（広川町）垣内久子（有田市）御坊保健所―森田芳雄（御坊市）平林多栄子（由良町）田辺保健所―竹中清雄、和田愛子（以上田辺市）西牟婁保健所―芝崎喜大三（古座町）西町子（串本町）新宮保健所―谷口将七郎（新宮市）奥村操（太地町）

緑の羽根募金にご協力を
目標額　六十万円
期間　三月三十日まで

暴力取締りを継続的に
捜査第二課を新設

県警察本部では、暴力排除対策本部を設けて県内の暴力追放に努め、昨年八月から年末までに九百十件、九百五十人を検挙したが、さらに徹底的、継続的に取締るため、一月十七日から捜査課第二課を新設、暴力凶犯の捜査検挙と選挙違反の取締りなどに重点をおくことになった。これで暴力排除対策本部が発展的解消したわけで、橋詰県警察本部刑事部長が捜査第一、第二課長を兼任する。

第4回縣観光写真コンテスト
特選　お燈祭
新宮市　倉垣新七氏作品

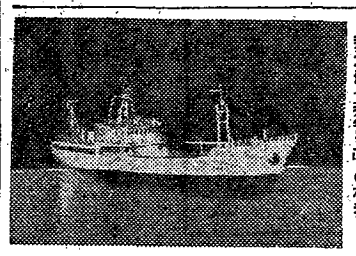
新指導船が完成
遠洋漁業に威力そえる

県内民間漁船に先駆して新漁場の試験調査を行い、遠洋漁業の伸展をはかるため新しく建造中であった県遠洋漁業指導船「那智丸」（三百五十総トン）は昨年十二月二十六日、静岡県清水港三保で進水式を挙行、知事代理大橋県経済部長の打ちてし斧によって五色のテープが切られ、スルスルとレールを滑って見事に長い航海に耐えうる堂々たる船体を海に浮かべた。

和歌山港へは二月二日に入港する予定で、四日にレセプションが行われ、船内を一般客に解放することになっている。その後航海準備にかかり、二月中旬からインド洋に向って漁場調査のため七十日間の航海をする予定である。

那智丸は長さ四二・八㍍、巾七・五㍍、深さ三・八㍍、中速ディーゼル六五〇馬力、総工費約一億一千万円で、主に漁場調査、漁況通信、経営調査、乗組員（主として県人）の養成など、操業しながら漁業試験をおこない、東南太平洋やインド洋に出かけて遠洋漁業を指導する。

本県の遠洋漁業の歴史は古い。県当局も他府県に先んじて、かつをまぐろ漁業指導船を造るという力の注きようで、過去に活躍した船に「紀洋丸」「那智丸（旧）」がある。


―新造船「那智丸」の模型

中学卒は百％
明るい今春の就職戦線

三月の卒業期を目前にひかえ、新規卒業者の就職も終盤戦に入った形だが、一月二十三日現在の県の集計では、県下の中学校卒業予定者は二万二千二百四十七名で、このうち就職希望者は四千七百十一名。高等学校卒業予定者は八千三十一名、就職希望者は四千百十二名で、いずれも昨年に比べて目立った増加はみられない。ところで中学校卒業者に対する求人は、就職希望者を上廻って五千五十名に達しており、高等学校でも三千六百三十一名と昨年の二倍に相当する求人が殺到していて、就職戦線に関する限り明るい見通しがたてられている。

これは産業界の景気の好転によることはもちろんだが、職業安定機関および学校関係職員が「ことしこそは完全就職を…」という意気ごみで、当初から求人開拓にあらゆる努力をおしまなかったことが好結果をもたらしたものということができる。ただ高等学校では、実業専門校を除いて中学校程の成績ではなく、大企業入社はやはり狭き門となっているが、二月頃までには一〇〇％近い就職も不可能ではないとみられている。

また、県ではことしは特に母子家庭の児童の就職あっせんに主力を注ぎ、一昨年から実施している知事の身元保証制度の活用などで、昨年同様一般よりも就職率が上廻るよう努力を続けている。いずれにしても春の訪れとともに、子を持つ母親たちも明るい表情をとりもどすことと思われる。

県教育長に福井氏

県教育長村上五郎氏は、一月一日付で大阪大学学生課長に栄転したため、後任には福井栄一氏（県監察長）が就任した。

自作農維持資金の利用を

一昨年十月から自作農家の経営を安定するため「自作農維持創設資金融通法」が設けられているが、本県への資金割当は三千一年度二千四百万円であった。来年度申込み受付は第一回四月初旬、第二回九月初旬になる予定で、希望者は各市町村農業委員会へ貸付申請書を提出する。

▼申請資格―専業農家で経営状態が標準地方の中流程度。

▼利用条件―（イ）自作、小作農地の取得に必要な資金（ロ）相続人が他の共同相続人から農地相続分の譲渡を受けるに必要な資金（ハ）疾病、負傷、災害の場合（ニ）前述の一項に該当する事由で負債ができ償還困難と認められたものの整理資金。

▼貸付の条件―利率年五分。償還期間二十年以内。据置期間三年以内。貸付金額一人最高二十万円。

詳細は市町村農業委員会、各農林、農事務所、県農地開拓課へ問合せのこと。

統計図表コンクール
作品を募集

県では統計思想の普及と表現技術の向上をはかるため、統計図表コンクールを開催することになり、次の要領で作品を募集している。

【応募資格】第一部―小学校の児童、第二部―中学校の生徒、第三部―高等学校の生徒、第四部―一般。

【課題】第一部―あなたの学校または家庭の様子を示す図表。第二部―あなたの住んでいる市町村の特徴または産業の状況を示す図表。第三部―①あなたの住んでいる市町村または本県の特徴、②同じく産業経済の状況、③日本経済の状況、④日本人口の状況のうちどれかを示す図表。第四部―自由。

【材料規格】第一部は七二・八センチ×五一・五センチ、その他は一〇二センチ×七二・八センチの用紙を使うこと。紙質、色彩、その他の材料は自由。

【締切】二月二十三日までにもよりの市役所、町村役場、または地方事務所へ提出すること。

【表彰】各部とも審査の結果特選一点、入選三点、佳作三点を選び賞状と賞金を贈る。

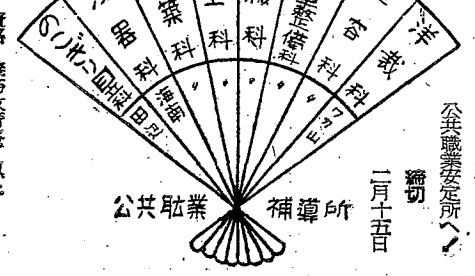
【その他】①入選作品は第四部は本人に直接通知し、その他はその属する学校長あてに通知する。②一人で何点応募してもよい。③応募作品は原則として返却しない。

学生・生徒募集

県立医大進学課程

入学願書受理期間…2月1日～2月15日
試験期日…第1時3月8日9日（学科）／第2時3月19日（身体検査）
試験場…学科　和歌山大学学芸学部／身体検査　医大附属病院
募集人員　40名

補導生　募集



申込は…最寄の公共職業安定所へ
締切　二月十五日

将来の農業改良普及員や農村中堅指導者を養成

募集人員　本科40名（高等学校卒業者）
別科生35名（中学校卒業者）
願書受付　昭和32年2月1日―3月21日（別科は25日まで）
入所試験　3月26日（別科）
27・28日（本科）
詳細は地区の農業改良普及員に問合せること
和歌山市太田　和歌山県農業講習所

再起への希望も明るく

健康管理も厳重に

結核回復者の社会復帰を促進

潮岬後保護指導所訪問記

『結核はなおらない病気だ』と思い込んでいる人は、今では殆んどないだろう。パス、ストマイ、ヒドラジッドなどの新薬と新しい治療法の出現で、昔から不治の病（おもまい）とされていた結核も、早く発見して適切な治療をすれば簡単になおるようになった。しかし、発見が遅れて病気が進行すればそれだけなおりにくく、また予後の大切なことも昔と変りはない。このため、県ではツベルクリン反応検査やレントゲン自動車による巡回検診などで、結核の早期発見につとめるとともに、患者に対しては病床の確保、療養費の一部負担など、苦しい県財政の中から県民の健康を守るためにできるだけの努力を払っている。

一方、長い療養生活の後に結核を駆逐した回復者の予後も重要な問題で、退院したとはいえ長い間の療養生活で身体が弱って、すぐには一般の健康な人といっしょに仕事ができないから、医師の指導を受けながら体力の回復につとめ、元の健康体になって社会へ再出発する基礎をつくる施設が望まれている。そこで昨年十二月四日に発足した県立の後保護指導所を、南紀潮岬に訪ねてみた。

後保護指導所の前で歩行訓練をする入所者

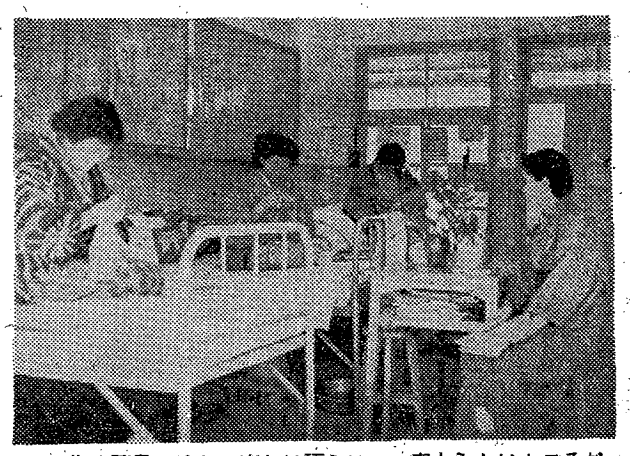
紀勢西線串本駅から灯台行きのバスに乗り、車の後方に串本港橋杭岩へかけての景勝を望みながら、坂を登り切ったところにある平松停留所で下車。道を左にとって菱島の中を突っきり、小高い丘の続く中の一本道を行くこと約二粁、低い松林の尽きたところで急に視界がひらけて、先ずコバルトの大平洋がまぶしく眼に入る。その次に視線をとらえるのは明るい色のスマートな建物群……。つまり、これから訪ねる県立潮岬後保護指導所である。海に近い五千三百坪の敷地に、総建坪三百七十八坪余の木造平家建が四棟、玄関に続いて事務室、応接室などがあり、これとT字形になっている一棟には食堂、浴室、作業室、調理室などがある。その両側にはそれぞれ南寮、北寮と呼ばれる二棟があって、これは入所者が居住するところ。各室の配置や通風、採光など十分に考慮が払われており、陰気な感じは薬にしたいほどもない。

県が苦しい財政の中から千二百七十万余円（半額国庫補助）の工費を授じてこの施設を作った目的は「結核回復者を一定期間収容し、適切な医学的管理をしながら生活訓練と職業訓練を行い、病気の再発を防止すると同時に社会への復帰を促進するためである。

規則正しい日課

特に、生活保護法の適用を受けている人たちは、退院すれば予後の療養が意のままにならず、また体力的にも無理な労働をする結果、病気の再発する人が相当多い。こうした悪循環を断ち切るために、主として生活保護を要する人を対象にしている。従って、現在収容している二十六人の入所者（男十四人、女十二人、定員は七十人）もその殆んどが要保護者である。

ここで、この施設の日課表をのぞいてみると、先ず七時に起床して清掃を済ました後八時に朝食、九時三十分まで施設附近を散歩する。もちろん各人の体力の回復程度に応じて歩行距離、時間、コースが決められ、過労にならないように注意が払われている。九時半から十一時半までは講座の時間で、一般教養のほかに専任指導員による作業講座があり、養鶏、洋裁、花卉園芸、衛生技術の四科目に分れているが、現在は洋裁と養鶏、花卉園芸の三科目を行っている。十二時に昼食で午後は一時から三時までが安静時間。病気が一応なおっているとはいえ、過労による再発を防止するために十分休養する。三時半から五時半まで軽作業となっており、将来はこの時間にミシンの操作や養鶏の実地、軽い畑作業などが行われるが、現在はまだ収容者の体力がそこまで回復していない関係で、午前と同じように歩行訓練（散歩）をすることになっている。夕食は五時でその後は自由時間、八時に就寝、九時消灯で一日の日課を終る。



編物や読書、そして楽しい語らい……病人らしいところが日一日と薄らいでいく（寮の内部）

再発防止に万全

環境に恵まれ明るい前途

こうした規則正しい生活を続けることによって、療養所や病院で過ごした生活の僻から脱けだし、再起して一般社会へ再出発する精神的、肉体的な基礎を作るのである。このほかにも週一回の健康相談、月一回の健康診断、血沈検査結核菌培養検査、四カ月に一回のレントゲン検査など健康管理は厳重に行われ、再発防止に万全の指導がとられている。

職業訓練をするための附属設備として、既に備えつけられているミシンのほかに、家畜舎や温室も近く作られることになっており、また広い敷地の一部を耕して畑を作る計画もある。また同復者には最も大切なものの一つである食事は、一日の食費八十円の中からできるだけ工夫をこらし、一日二千四百カロリーを下らないように献立を考えている。従って生活保護者の場合は、入院中の一日百二十円程度の食事に比べるとやや劣ちるかも知れないが、退院してすぐ自宅へ帰り、月二千円足らずの生活保護費で尊すことを思えば、やはり恵まれているといわなければならない。

黒潮めぐる本州の最南端にあって冬も暖かく、夏は太平洋を渡ってくる涼風に暑さを忘れ、恵まれた自然の中で病後の身体をいたわりつつ、再起への念に燃えて日々を送る人々には、おのずから前途に明るい希望が見出されるであろう。

入所案内

①結核治ゆ判定表の臨床的治ゆの段階にあること。②原則として十八才以上で、入所中指導訓練を受けられる年令であること。③社会的適応性があり、更生の意欲のある者。

県では近く（三月頃）潮岬後保護指導所の第二期生を募集する計画をたてているが、入所資格、手続などは次のとおり。

▽入所者＝つぎの資格に該当する者について、審査の上決定する。

①結核治ゆ判定表の臨床的治ゆの程度、経歴、職業能力などを考慮して種目を決定し、職業訓練を行う。

▽入所期間＝原則として一年間であるが、特別の場合は延長することができる。

▽入所手続＝入所希望者は居住市町村長および所管の福祉事務所（地方事務所）を経て、県潮岬後保護指導所長に次の書類を提出すること。

①入所申請書、②医師の診断書、③申請前三カ月以内に撮影した四ツ切判以上のレントゲン写真、④結核に関する科のある病院長、療養所長または保健所長の推せんする者。⑤身元の確実な者。

▽入所手続＝入所希望者は居住市町村長および所管の福祉事務所（地方事務所）を経て、県潮岬後保護指導所長（地方事務所長）が作った身上調書、⑥生活保護法の被保護者の場合は、その関係書類の写、⑦身元引受書

▽入所費＝生活保護法の被保護者の場合は生活扶助の特別基準設定額、その他は一人一日百六十五円。

▽職業訓練＝入所者の希望、治ゆ程度、経歴、職業能力などを考慮して種目を決定し、職業訓練を行う。

更生意欲のある人

賞金一万円の 第三回 貯蓄クイズ

新しい年を迎えた太郎君の家では、ことしから家庭経済五原則をつくって実行することにしました。五原則というのは次のとおりですが、伏字の箇所に適当な文字を入れて下さい。

一、家内中①②めいの持場で③くること
二、物や④⑤を⑥⑦にし生かして使うこと
三、衣⑧⑨を簡素にし特に⑩⑪葬祭のむだな費用を省くこと
四、家計簿をつけて予算生⑫を実行すること
五、将来に⑬えて⑭⑮貯蓄すること

と

問題

前回の貯蓄クイズはなかなか好評で、応募数も二千通を超え、幸運の当選者がでましたので、県貯蓄推進委員会では引続いて「第三回貯蓄クイズ」を募集することになりました。皆さんでチエをしぼって、多数の応募をお待ちします。

【応募規定】①用紙は官製はがきに限る。必ず郵送すること。（持参したものは無効）②解答の書き方は図のように番号をつけて、その下に答を書くこと。③正解は県地方課長と交蓄広報課長が共同で作った原文（厳重に保管している）に合致したものに限る。

【賞金】一万円。正解者が二名以上五名までの場合は等分。六名以上の場合は抽せんで五名を決定して等分する。正解者のない場合は一字違いの第五十号

【締切】二月二十八日までに到着したもの。

【送り先】和歌山郵便局私書箱

（答の書き方）

11	6	1
12	7	2
13	8	3
14	9	4
15	10	5

【発表】県民の友四月号紙上。

【使用文字】○は平仮名、□は当用漢字

正解者六名出る

本紙十二月号で募集した第二回貯蓄クイズは、二千六百七通の応募がありましたが、審査の結果正解者は六人で、抽せんの上左の五人に賞金各二千円を送りました。

日高郡美浜町　石川政清
和歌山市中之島　千葉大造
和歌山市今福　吉田　稔
西牟婁郡日置川町　小山善市
和歌山市九番丁　浜地万寿郎

前回の正解は次のとおりです。

十二月は年末賞与越冬資金や供米代金など、多額のお金が各家庭にはいってくると同時に、年末年始の行事や慣行などに多額のお金が出ていきます。

今年こそは極力むだな費用を省いて、貯蓄にまわし、明るく楽しい新春を迎えましょう。

ムシ歯予防法の秘決

幼稚園入学前（満五才）に三、三、三による歯を磨く習慣をつけましょう

3.3.3制で

食後3分以内に

3分間

1日3回歯を磨きましょう

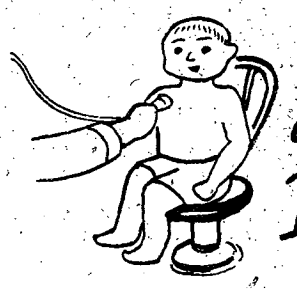
地域社会建設　教の育反省と振興をはかる

第10回

社会教育研究大会

とき　2月27日・28日
ところ　城内勤労会館
出席者　市町村教委・公民館職員・各種団体

小学校入学前に
就転前に
健康診断



とくに結核の診断と
B.C.G予防接種を

県下23カ所を巡回

〝母子家庭を明るくする会〟

ことしも「母子家庭を明るくする運動」が全国的に展開されているが、県では一月十六日から二月十三日まで、県下二十三カ所で巡回母子家庭を明るくする会を開催、各地とも好評をもって迎えられている

この会は母子福祉への理解を深めるとともに、母子福祉資金貸付法の浸透をはかり、同時に母子家庭を慰め励まして自覚をたかめ、自立更生への一助としようという目的で計画されたもので、那賀郡粉河町を皮切りに各地とも地元の熱心な協力をうけ参会者も多いところでは三百人をこえる盛況を示している。

これは母子家庭の母と子はもちろん、平常から母子福祉に関心を寄せている一般社会の人々の集りである。会場では先ず県の立場から、あるいは未亡人の立場からそれぞれ母子福祉について発言があり、それに関連した質疑応答の時間が設けられる。との発言も母と子の心からなる叫びであり、一般社会の暖かい思いやりのこもった声である。

引続いてレクリエーションに入り、映画やゲームで日頃の苦労を忘れたひとときを過すのであるが、これと併行して母子相談員が母子家庭の生活全般にわたって相談に応じる。「地方事務所まで出掛けるのが大変で、つい放ってあったが、こんな田舎まで来ていただき、ありがたいことで…」と、こうした機会にめぐまれたことを心から喜んでいる人も多かった。

巡回母子家庭を明るくする会の二月一日以降の日程は、四日海南市中野上▽六日日高郡日高町内原、御坊市塩屋▽七日日高郡切目川村▽八日西牟婁郡白浜町、田辺市▽九日西牟婁郡里本町▽十日東牟婁郡太田村、新宮市▽十一日東牟婁郡熊野川町三軒ノ▽十二日和歌山市新南▽十三日和歌山市中之島の各地で開催される。

この会によって母と子が自覚をたかめ、社会の人々から暖かい援助の手がさしのべられて、母子家庭が少しでも明るくなれば、どんなに幸せなことがろうか。

写真は橋本市で開かれた会でレクリエーションに興ずる人びと

なお、各会場を通じて多かった質疑応答の主なものは次のとおり。

◇…高等学校は学期の始めにまとめて授業料を納めるので、修学資金貸付もそのようにできないか。

貸付の操作を研究して、希望に副えるよう努力する。

◇…若い母の再婚について対策があるか。

未亡人の結婚は世間の考え方をもっと啓発する必要があるし、あくまでも子供の幸福の上に立って考えなければならない。未亡人の結婚問題については母子相談員をせいぜい利用してほしい。

◇…本業期をひかえて就職あっせんの対策はどうか。

母子後援会が設立され、保証業務もできるようになったので、一般の協力を広く呼びかけている。一般家庭の子供に伍して恥しくない子供に育てておけば、母子家庭の子だという遠慮は少しもいらない。

木枯の中に菊薫る

○…和歌山県の暖地園芸は年とともに発展しているが、殊に6年前から始められたビニールハウスは、すでに7万坪におよぶという躍進ぶり。外は冷たい木枯が吹きすさんでいるというのに、ハウスの中は肌着1枚でも暑い位だ。

○…キユウリなどは夏の出盛りに採れても、少しも珍重されない。シユン外れに出荷してこそ大きな価値が出てくるのだ。だから「菊」なども11月に咲くのが普通だから、照明と並行して電熱で温度を高め、開花を抑えておいて1月2月頃に京阪神へ積み出す。ご覧のとおり只今花盛りというわけである。この後へキユウリやトマト苗を植え、4月頃に出荷する寸法となる。＝写真は南富田で写す

亞麻栽培を奨める

＝水稲前作として好適＝

亜麻（あま）は非常に用途の広い作物で、布地、帆布、テーブルクロス、テント、シート、ハンカチーフ、ホースなどがつくられる。また種子からペイントや亜麻仁油がとれ、需要も年々増加する傾向にあるが、国内原料が非常に不足しており、毎年七、八億円に上る原料をベルギー方面から輸入しているため、外貨不足の折柄、国内での増産が望まれている。

亜麻は水稲の前作として二月から三月にかけて播種し、五月中下旬に収穫する。生育期間は約九十日、農閑期の労力配分の上からも好適であろう。反当収益は麦と同じ位で、決してボロい作物ではないが、価格の変動がない（実約栽培で播種前に価格をきめ、豊凶によって変動しない）点と、生産費が少いという点で、十分他の換作物と競合できる。

栽培法の要点は次のとおり。

◇耕作田◇　必ず排水のよい乾田を選び、湿田は避ける。乾田で反当二万円以上あげても、湿田ではわずか千円程度ということもある。

◇整地◇　冬期に荒起しておく土を風化させ、播種前に六尺一十尺位の短畝畦を作り十分に細かく土を砕く。

◇播種◇　二月上旬から三月上旬にかけて、降雨前を見越して播きつける。播種期が少少おくれても収穫期は殆んど変らない。種子は反当八升を用意し、厚い薄いのないよう平均に播く。

◇種土◇　レーキ、機械にかきまわして、種土としてから乾燥の様子をみて、この頃になると芽が揃ればはじめる。

◇管理◇　生育中管理の必要は殆んどないが、雑草が多ければ亜麻が五寸位のとき大きい草だけ取り除ける。生育不良のときは硫安を反当一貫程度四月中旬までに施す。

◇肥料◇　土地によって違うが反当り硫安四―五貫、過燐酸石灰五―六貫塩加加里二貫位を標準に、地力に応じて増減し、整地のとき全部を基肥として施用する。

◇収穫◇　順調だと播種後八十五日―九十日で収穫できる。本県では大体五月二十日前後が収穫期のようで、この頃になると葉が枯れはじめる。

葉を反当五十貫（穂付反当五十一貫）

から、晴天を選んで引抜き、脱穀して三日ほど天日で乾燥する。亜麻の手間は殆んどこの時期に集中されるわけ。

◇販売◇　製品は決められた日に最寄りの駅へ出荷し、検査の上、現金で取引きされる。

亜麻はよい土地ほど好成績をあげるが特に紀北米麦単作地帯の集中栽培が望まれる。種子は町村役場を通じて農業改良課へ申込むと、すぐ発芽するが一町村で一町歩以上の栽培を希望している。ことしは倒伏し難く、増収性の種子が入っているから、好成績をあげうると思われる。」

手数料は不要

県物産販売斡旋所の利用を

本県物産を海外、国内に宣伝紹介し市場の獲得と販路を拡げるため積極的な施策として、県では財政上の困難を乗りこえて東京、大阪、北海道にそれぞれ県物産販売斡旋所を設けているが県内の生産者でこの斡旋所を利用している業者は極めて少い。係では全世界が好景気だといわれている昨今、大いに利用されるよう望んでいる。

◇所在地◇

○【和歌山県東京物産販売斡旋所】＝商工品部＝東京都千代田区丸の内一の一（国際観光会館三階）

＝農産品部＝東京都千代田区神田旅籠町三の八

○【和歌山県大阪物産販売斡旋所】＝商工品部＝大阪市東区北久宝寺町二の十三

＝農産品部＝大阪市福島区下福島二の九

○【和歌山県北海道物産販売斡旋所】＝北海道札幌市南一条東二丁目

戸締は厳重に

ぜひ守りたい　防犯心得

家庭では

◇……（イ）強盗や空巣などの大半は戸締りの忘れたところをねらって侵入している。戸締りは厳重に、カギは二段、三段構えと工夫し、就寝前に必ず戸締りを見廻るようにすること。

（ロ）侵入強盗や空巣の犯人は勝手口、湯殿、応接間、二階の窓などをねらいやすいので、戸締りにも十分気をつけること。

（ハ）押売り、物乞いなども多いから昼間でも玄関や木戸の出入口の戸締りを励行すること。

（ニ）家をあけるときは、目立たぬように厳重な戸締りをして更に隣近所にもよく頼むこと。

（ホ）訪問客、集金人、検査員などを装って、どろぼうを働く犯人も多くあるので注意すること。殊に夜間の来訪者は相手を確めてから家へ入れること。

◇……外出時に（イ）乗物や百貨店などの混雑するところでは、スリが多いから持物に特に気をつけること。（ロ）銀行、郵便局などの行き帰りをねらう犯人もいるので、女、子供のお使いは避けること。大金を持っているときはタクシーを利用することが安全である。（ハ）暗い場所の一人歩きは辻強盗や痴漢にねらわれやすいから、できるだけ明るい、人通りの多い道をえらぶこと。

◇……商店では（イ）手提金庫や売上金の置場所は、客の目にふれない所を選ぶこと。（ロ）自転車を路上や店先に置く時には施錠して盗難を忘らないこと。

（ハ）屋外の物品は就寝時必ず屋内に取込むこと。

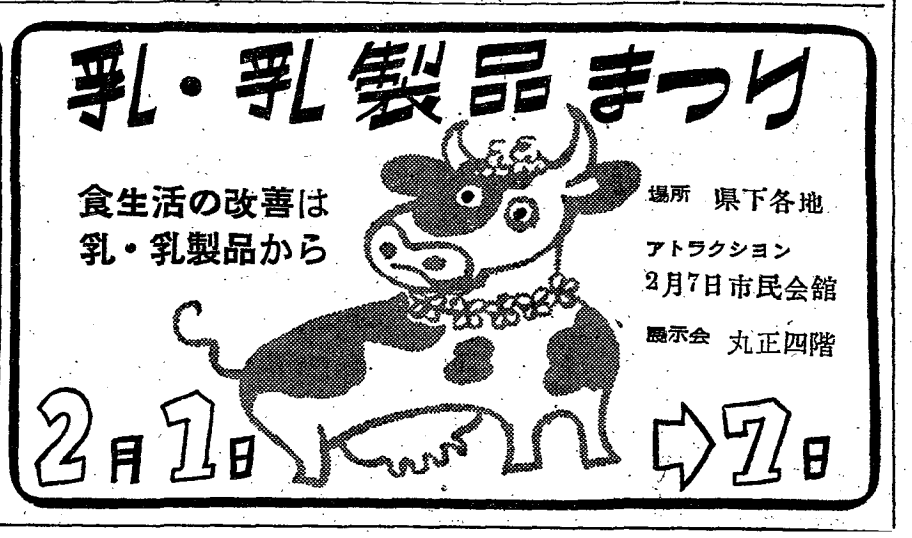
◇……被害をうけた時は……◇　ときは反抗するよりも、できるだけ冷静に対処してその間に人相特徴をよく覚え、相手が去ってから適当な方法で警察へ届けること。

今月の農業

【蚕種】第二回中蔟除草は本葉五―六枚の頃に土入とかねて行う。追肥は分けつの促進をはかるため上旬頃までに速効性肥料を施用

【そ菜】早熟ナス、トマト、キユウリなどは本月上旬温床に播種する。発芽時の床温はナスで0.33度前後、トマトキユウリで0.30度とし、発芽後はいずれも25―30度位。早熟トウガラシは一月中に播種できなかったものは本月上旬に播種する。馬鈴薯は増産するため0.8度以下ではガスの発生が悪いから、温床には覆蓋を乗らない範囲でできるだけ早植する。種薯は一反当五十―一貫

【果樹】柿や桃の剪定接穂の採取、貯蔵、施肥などは今月中に終る。病害虫防除としての荒皮削りや介殻虫に対する薬剤撒布をもゆひ行いたい。柑橘園では展開期を利用して客土やタコツボを堀って有機粗材を埋没する。また越冬害虫を防除するための青酸ガス燻蒸は、0.8度以下ではガスの発生が悪いから、温和な日を選ぶとともに用水もあたためて用いる。」



那賀版

山火事は明るい村を暗くする

根来山再建計画

一大観光地を実現

地上百尺の観音像建立も

災害復旧工事や町村合併をほとんど終えた本郡では、平和事業特に観光面の開発に力を注いでいるが近く根来山を再建して、一大観光地にすべく、準備を着々と進めている。

本郡では、地方事務所長の構想で地理的な好条件を生かし、埋もれた由緒、景趣や規模ともに秀れた観光施設を開発することによって、郡の発展を計画しているが、先ず全国各地に六千余りの末寺をもつ新義真言宗の祖山、根来山の開発と再建に重点を置くことになった。

◇……資金計画を五カ年として総事業費は六千一百万円、この調達の方法は篤志寄付および募金で二千八十五万円、末寺寄付で五千十五万円を計画している。

◇……再建計画は、寺院の歴史や規模が他よりすぐれている当山を、新しい感覚でもりあげ全境内を整備して観光面の伸展をのぞみ、また古えのように天下の霊場を再現しようとするものである。

◇……再建工事は第一次から第四次までとする。

【第一次工事】不動堂を中心におこなう。

不動堂前縁堂を取りはずして参拝客用の客殿を建築、前庭の整備、庭園、遊園施設をおこない参道を拡張新設する。

この不動は、成田不動、滝谷不動とともに三大不動として知られている（有名な成田不動は根来の孫に当る）が、他の二不動の隆盛とは逆に衰微している。

【第二次工事】本坊の周辺。広汎な本坊前を山腹を背景とした一連の庭園とし、聖天池に太鼓橋二つを架け、大谷川に吊り橋を新設、配電、給水施設、駐車場をつくる。

【第三次工事】如意輪観音像を建立。山腹を開拓して鉄筋コンクリート百尺の像を建て、内部に立和祈願碑などを置く。

【第四次工事】大客殿の建設と周囲の整備。末寺六千余寺の僧侶修練場として、また観光、参拝客受入れのため木造瓦ぶき二階二百坪を建築する。

◇……昨年末「根来山再建促進委員会」を結成したが、会長は野村吉三郎氏、副会長に中西中村両県議、平野吉出町長、常任委員に山西地事所長ら、顧問には小野県知事、平越県会議長山口、坊、田中、前田の衆参両議員、末寺の豊山（大和長谷寺）智山（京都智積院）の管長、成田山および護国寺の貫主、相談役に松下幸之助、竹中治、桃谷順一氏ほか県内外財界人という豪華なメンバーである。

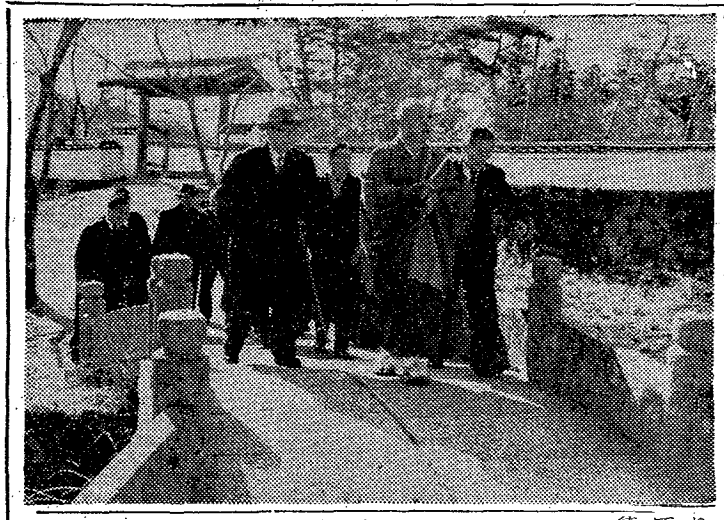
◇……開発には当然資金が必要であるが、去る十二月二十三日から五日間、促進委員会の副会長、常任委員、荒谷根来山座主、平松観光協会長らが上京、各代議士に開発の協力を求め、智山、豊山両派の代表者と会談して好結果をみた。また根来山の代表寺院である千葉成田山、東京高羽の護国寺を訪問し門末六千余寺がこぞって再建に力を合わせることとなった。

なお、一月二十日に野村会長を根来山に迎え、山内を視察再建についていろいろと具体的な打合せを行なった。

根来山の歴史

今では桜の名所としての方がよく知られているが、根来山の歴史は古く、多くの由緒が秘められている。

八百三十年前、時の聖者覚鑁大師の開基で、大治五年に鳥羽上皇が真言、新義の学山の地として小伝法院を創建したのに始った。最も隆盛を極めた正応から天正年間には堂塔、伽藍が二千七百余り、寺領は紀伊、泉、摂津、河内の四カ国（七十二万石）を有し、高野山をしのぐ勢いであった。しかし天正十三年、豊臣秀吉の攻略によって現存する国宝大塔（我が国唯一の木造大塔で木造建造物の代表である）大師堂、不動堂を残して、ことごとく戦禍にあって焼失した。このため僧侶は難を避けて京都智積院と奈良の長谷寺に法燈を樹て各々三千余カ寺の門末を擁して智山、豊山両派を確立し、残された祖山根来は幕府の抑制下にあって、僅かに紀州徳川家の庇護をうけ、その後も両派より交互の管理によったゝめ寺院の経営に困難となりますます衰微をつゞけた。その後祖山としての風格を更新することに極力努めたが、第二次大戦のため軍隊の駐屯、青少年の修練道場、また土地は開拓して食糧増産に使用され、戦後は農地の解放などで根来山の財源はほとんど失われた。



産労住宅に融資

対象は社宅、独身寮

県では本年度の産業労務者住宅の融資申込みの受付を始めており、従業員の社宅や独身寮を建てようという事業場の申込みを待っている。

【受付期間】二月二十日まで。

【申込場所】県庁建築課。（用紙は実費で頒布する）

【申込資格】県内で生産、販売運送その他の事業を営み、常時五人以上の従業員を使用する事業者。

【貸付条件】①建物の融資対象面積は、世帯向住宅では一戸当りの平均床面積（共同部分を含む）十三坪以内、共同宿舎では一人当り平均床面積（共同部分を含む）四坪以内。②土地の融資対象面積は、共同住宅と共同宿舎では建物の延面積の二倍以内、その他の住宅では一戸当り五十坪以内とする。③償還方法は元利均等の毎月払。

【使用料】入居者から徴収する使用料（家賃）は、原則としてその事業場に使用されている労務者の平均給与ベース（世帯主と独身者を区分して）の一割以内とする。

ハゲ山をなくそう

赤松、やまもゝて荒廃防止

地方事務所では昭和三十一年度工事として今度県下で始めての荒廃地防止事業の全額を国及県の負担で行うことになり、郡内桃山町で十五町歩、那賀町で十町歩の工事入札を行った結果、それぞれ安楽川森林組合が五拾九万円、那賀町森林組合が三十九万四千円で落札をし、三月末日までに工事を完成することになった。この工事は、はげ山やせ山のため樹木の成育が悪くて災害の予想されるところへ赤松、やまもゝを植栽し肥料を施して行うものである。これによって樹木が繁茂することになり将来大森林が形成され住民の福祉に役立つと大いに地元民が期待をかけている。

北海道へ救援物資

歳末に温い愛の運動

○…昨年末曽有の冷害に見舞われて、その日の生活に苦しみ、飢と寒さに斗っている北海道の冷害状況が伝えられてから、同胞を救おうと郡内各地からあたたかい多量の物資が続々と地方事務所へ寄せられた。

これらの物資は日赤支部を通じて現地へ送られたが昨年中郡内各町村から寄せられた物資は、現金十二万一千七百六十六円、米二十一石四斗三升四合、衣料四百十三点であった。

○…一方、好景気とはいいながら郡内には生活に苦しみ、越年にも事欠く世帯や養老院その他の施設で暮す人々が多くいる。

これらの気の毒な人びとに、せめて私たちの気持ちだけでもと温かい隣人愛の結束で「才末愛の運動」として、各町村から現金六万四千三百五十円、白米八石四斗五升、郡内駐出先機関および諸団体から現金五万二百六十六円が地方事務所に寄せられた。同所ではその金で日用品を買うなどして、それぞれ不幸な人びとに分配した。

＝写真は北海道冷害地へ向け送られる救援物資

五色も鮮やか

各町村で消防出初式

新春をかざる管内消防出初式は二日岩出町、小倉村の出初式をトップに三日打田町、粉河町、五日那賀町、貴志川町とそれぞれ挙行、当日は祝辞、県消防協会長、地方事務所長、町村消防長よりの永年勤続者、消防功労者等の表彰を行い引続き器材点検放水を実施。赤、青、黄……五色も鮮やかに放水される、壮観に見物の町民は消防に対する信頼を深めた。

造林、間伐に評会に

岡、向竹さん入賞

昭和三十一年度県主催「造林地ならびに間伐地品評会」に出品中であった岡覚之助氏（粉河町鞆淵）が造林の部に、向竹浜太郎氏（同上）が間伐の部にそれぞれ審査の結果、三等に入賞。

今月のフォート・ニュース

▽完成近い殿山発電所▽花ざかりの暖地園芸▽生活改善の相談相手▽明るい再起への希望。

好評の分譲住宅

申込みは二月十一日から

好評を博した昨年に引続き、県では本年度の分譲住宅四十二戸を和歌山市に建築中であるが、このうち和歌浦団地と吹上団地の購入申込みを二月十一日から受付けることになった。

【和歌浦団地】市電和歌浦口下車東へ二分。十一戸。

木造平家一戸建。十二坪五から十四坪、二二まで。十地六十二坪から七十一坪つき。分譲価格は八十六万円から九十六万円まで各種（一時払込金は四十三万円から五十二万円まで）

【吹上団地】市電小松原通五丁目下車東へ十三分。一戸。

木造平家一戸建、十三坪。土地八十一坪つき（但し借地）分譲価格六十四万円（一時払込金は三十万円）

【受付期間】二月十一日（月）から十六日（土）正午まで。

【申込場所】県庁建築課（申込用紙は実費で頒布する）

【申込資格】①県内に居住する人。②本人が住むために住宅を必要とする人で、一時払込金を納入できる人。③本人の年収が約二十二万六千円以上（吹上）または二十九万二千円以上（和歌浦口）あり、確実に償還できる人。④同居する家族が本人を含めて二人以上ある人。⑤本人と同等以上の収入ある保証人二名必要。

なお、これ以外に新高団地（和市関戸一六〇）十九戸、塩屋団地（和市塩屋）十一戸を建設中で、新高団地は三月上旬、塩屋団地は三月下旬に申込みを受付ける予定。

開設7周年記念

3月競輪

1（金）	2（土）	3（日）
9（土）	10（日）	11（月）

発走12時

予防接種をうけましょう

・生後6カ月から12カ月の間
・小学校入学前6カ月以内
・小学校卒業前6カ月以内

・生後6カ月から12カ月の間
・小学校入学6カ月以内
・小学校卒業6カ月以内

・生後3年以上4年未満
・以後60才まで毎年

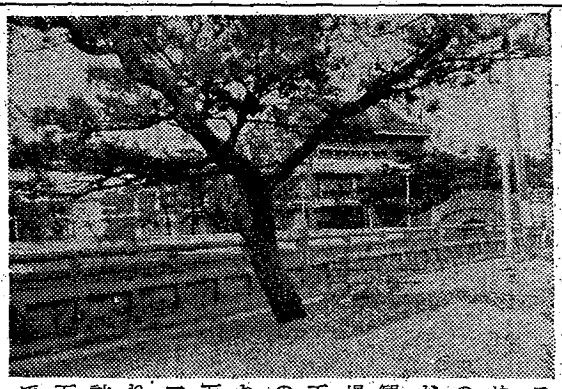
・生後3カ月から6カ月の間
・その後12カ月から18カ月の間

・生後6カ月以内
・その後30才まで毎年B・C・G接種

くわしいことは市町村役場にお聞き下さい

市内版

一石三鳥の工事
和歌浦　観光道路に欄干



和歌浦電停から三段橋を経て不老橋に至る区間は、観光地和歌浦の表玄関として観海閣など史蹟、名所も多く、他府県から来る観光客の旅情を大いになやめているが、県では国の補助をうけて昨年九月から和歌浦津屋にある樋門から不老橋までの観光道路に、地盤沈下と高潮対策および観光面と一石三鳥をねらって擬宝珠式波返し工事をすすめていたが、現在九十九%の施行を終り二月末待望の完成を見ることになった。

この工事は、初め二百五十万円の国費で防波堤だけだったが、観光面から見た場合非常に不細工なものとなるので、国費のほかに県が二十八万五千円、市が二十一万円をそれぞれ負担し、計二百九十九万五千円の総工費で当初の設計を変更して着工にかかっていたもの。

場所は和歌浦津屋地内にある樋門から三段橋を経て不老橋に至る延長百九十九米で、道路の東側には十米おきにボンボリを新設して夜景色に一そうの彩りをそえ、特に不老橋付近の急カーブでは道路の巾員を現在の八米から約三米も拡張して交通事故の防止に大きな配慮がはらわれている。このカーブは毎年五、六件の事故が発生しており、海中へそのまま飛込むなどの曲芸的な事故も生れている。いずれにしても新和歌浦の観光橋と同じ欄干が和歌浦に出現するわけで、一きわ景観をそえるとともに県民はもとより、訪れる観光客を大いに楽しませてくれることになった。＝写真は完成間近い不老橋付近

山火事は明るい村を暗くする

乳で体力増強を
多彩な催で普及はかる

県では二月一日から七日まで"乳・乳製品まつり"を県下各地でおこなうが、市内では、丸正百貨店四階催場で乳、乳製品の展示会をするほか、七日には市民会館で盛りたくさんのアトラクションとともに、乳や乳製品の知識と消費普及を呼びかける。

牛乳は完全食品といわれているように栄養的には優れた食品だが、ともすると乳や乳製品は病人や子供用だと早決めする人たちが少なくない。

この原因は私たちの食生活が米食を中心に発展し、乳や乳製品になじめなかったからだとも考えられるが、最近では学校給食や食生活改善の啓もうなどで、栄養改善の意欲が高まり、これらの食品の消費が年々上昇してきている。

私たちの食事の大きな欠点は血や筋肉を作るのに必要な動物性の蛋白質と、骨や歯を作るのに必要なカルシュムのとり方が少ないということで、これらの栄養素は乳、乳製品にふんだんに含まれている。

例えば、バターは牛乳中の脂肪分を集めて作ったものであるが、これは私たち日常使っている油脂類の中で最も消化吸収によく、病気にかからない強い抵抗力をつける働きをもつビタミンA、骨の健康と発育になくてはならないビタミンDなどを豊富に含んでいる。またチーズは牛乳の風味と牛乳に含まれる栄養素をそのまま濃縮した醗酵製品で、脱脂粉乳はバターを作った残りの脱脂乳を乾燥したものであるが、これ程良質のカルシュウムを含んだ食品は他になく、衛生部や保健所では安心できる食品として常に衛生検査や成分検査を実施している。

ばかりではなく、乳に豊富に含まれているビタミンB2によって美容と若さを保ってくれる。特に子どもの発育に大きな役割をする。

からだの潤滑油の役目をするビタミンやミネラルなども他の食品にはみられないバランスで含まれ、しかもコロイド状に消化吸収されやすい形になっている。乳や乳製品はこのように健康の増進をはかる

好評の分譲住宅
申込は2月11日から

好評を博した昨年に引続き、県では本年度の分譲住宅四十二戸を市内に建築中であるが、このうち和歌浦団地と吹上団地の購入申込みを二月十一日から受付けることになった。

【和歌浦団地】市電和歌浦口下車東へ二分。十一戸。木造平家一戸建。十二坪五から十四坪一二まで。土地六十二坪から七十一坪つき。分譲価格は八十六万円から九十六万円まで各種（一時払込金は四十三万円から五十二万円まで）

【吹上団地】市電小松原通五丁目下車東へ十三分。一戸。木造平家一戸建、十二坪。土地八十一坪つき（但し借地）分譲価格六十四万円（一時払込金は三十万円）

【受付期間】二月十一日（月）から十六日（土）正午まで。

【申込場所】県庁建築課（申込用紙は実費で頒布する）

【申込資格】①県内に居住するか、勤務先が県内にある人。②本人が住むために住宅を必要とする人で、一時払込金を納入できる人。③本人の年収が約二十二万六千円以上（吹上）または二十九万二千円以上（和歌浦口）あり、確実に償還できる人。④同居する家族が本人を含めて二人以上ある人。⑤本人と同等以上の収入ある保証人一名必要。

なお、これ以外に新高団地（市内関戸一六〇）十九戸、塩屋団地（市内塩屋）十一戸を建設中で、新高団地は二月上旬、塩屋団地は二月下旬に申込みを受付ける予定。写真―上は外部構造、下は室内

県下公民館大会ひらく

県民館大会は二月二十六日午前九時から城内労働会館で開催される。

午前中は開会式に引続き、主催者のあいさつ、優良公民館職員の表彰や昭和三十一年度の経過報告と質疑応答ののち「公民館をめぐる諸問題」（講師未定）の講演あり、午後は全体討議を行って午後四時半終了の予定。

参加者は公民館関係者、教育委員会と事務局員、社会教育委員、学校教職員その他社会教育関係団体の代表者となっている。

産労住宅に融資
対象は社宅、独身寮

県では本年度の産業労務者住宅の融資申込みの受付を始めており、従業員の社宅や独身寮を建てようという事業場の申込みを待っている。

【受付期間】二月二十日まで。

【申込場所】県庁建築課。（用紙は実費で頒布する）

【申込資格】県内で生産、販売運送その他の事業を営み、常時五人以上の従業員を使用する事業者。

【貸付条件】①建物の融資対象面積は、世帯向住宅では一戸当りの平均床面積（共同部分を含む）十三坪以内、共同宿舎では一人当り平均床面積（共同部分を含む）四坪以内。②土地の融資対象面積は、共同住宅と共同宿舎では建物の延面積の二倍以内、その他の住宅では一戸当り五十坪以内とする。③償還方法は元利均等の毎月払。

【使用料】入居者から徴収する使用料（家賃）は、原則としてその事業場に使用されている労務者の平均給与ベース（世帯主と独身者を区分して）の一割以内とする。

自衛隊医科、歯科幹部候補生を募集

防衛庁では陸上、海上、航空自衛隊の医科および歯科幹部候補生を次のとおり募集している。

▽採用予定人員△……医科約六十名（陸上約五十名、海上五名航空数名）歯科約十五名（陸上約十名、海上、航空各数名）

▽応募資格△……昭和四年四月二日以降出生の日本国籍を有する志操健全、身体強健な男子で次に該当する者。

①医師法および歯科医師法の規定により文部大臣が認定した大学において、それぞれの正規の課程を修めて卒業し、又は昭和三十二年三月卒業見込の者。

②医師または歯科医師国家予備試験合格者。

③外国の医学校又は歯科医学校を卒業し、又は外国で医師歯科医師免許を受けた者で、国家試験受験資格がある者。

▽受付期間△……昭和三十二年二月五日（火曜日）まで。

▽志願手続△……志願者は陸上自衛隊の総監部、地方連絡部又は出身学校において志願票などを受け、次の書類を取りそろえ第三管区総監部（兵庫縣伊丹市緑ケ丘）へ提出又は郵送すること。

（イ）志願票二通（所定欄に写真を貼る）（ロ）卒業証明書又は卒業見込証明書一通（ハ）成績証明書一通（ニ）受験票（一年以内の写真を貼る）（ホ）本人のあて先明記の封筒一枚（十円切手を貼る）【注】防衛庁では直接受付事務を扱わない。

▽試験期日、種目△……昭和三十二年二月十二日（火曜日）。口述試験および身体検査。

なお、給与、志願手続など詳細については総監部募集班、地方連絡部、基地隊などに問い合わせること（郵送による場合はあて先を明記して十円切手をはった返信用封筒を同封すること。）

旧関東州預金者に朗報
債権申込受付は月末まで

関東州にあった金融組合はこんどで在外金融機関に指定されたが、これらの金融組合に預金などの債権を持っている人で、現在国内に住所を持っているものは次の要領で債権の申出することができることになった。

◇申出を受ける金融組合＝金融組合令によって設置されたもので、昭和二十年八月十五日現在関東州にあった金融組合。

◇申出債権の対象＝定期預金定期積金、特別当座預金、貯蓄預金、国債貯蓄預金やその他の預貯金。

◇債権申出人の資格＝預金者で現在日本国内に住所を持っているものに限られている。

◇申出期日＝昭和三十二年二月二十八日まで。

◇支払＝申出債権は審査の上確認できる分に限り法定換算率（関東州は十六分の十）で換算の上、支払資金の範囲内で支払われるが、支払資金は極めて少ないので実際の支払額は少額の見込。

◇債権申出場所＝東京都練馬区豊玉北三丁目二十四番地森田良作方、関東州金融組合特殊整理事務所

◇債権申出用紙＝県厚生課か県引揚者団体事務所にある所定の用紙。なお用紙の郵送を希望するものは郵送料を同封して請求すること。

今年はハシカの当り年
むやみに温めると危い

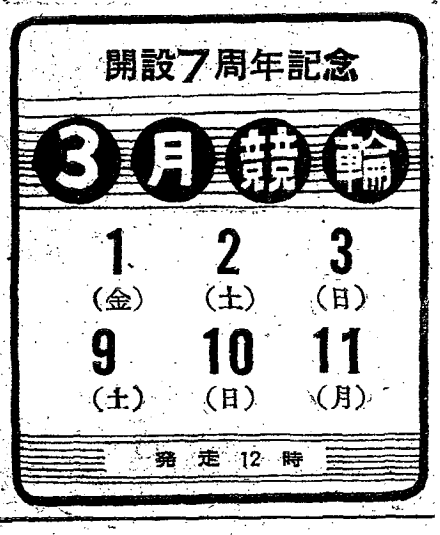
麻疹は俗に「ハシカ」といって冬からそろそろはじまり、春さきに一番多く、また大体一年おきに大流行しているが、今年はこの流行年に当っている。

麻疹は小児に取って昔から命取りの随一に数えられている大厄の一つで、自然免疫はなく一生に一度は必ず罹るものと考えて間違いない。病原体はビールスの一種で、患者の口腔鼻腔、咽頭の粘膜にあり、くしゃみや咳で直接周囲の人々にうつる。したがって発疹の出盛りが一番伝染力が強く、大体熱が下ると伝染力がなくなる。

麻疹では冷すと発疹の出くあいが少なく、内攻するから温めなければいけないという考え方で、むやみに温めて身体中びっしょりにする程着せ、頭から湯気を立てているというような場合があるが、これは誤りでかえって肺炎などを引き起す原因になる。発疹が充分出るまでは冷すことは避けた方がよいが、これも程度問題で温めるというより冷すというたようなことは必要以上にすると危い。

麻疹は風にあててはいけないというわけで、治った後でも長い間戸外に出さない人があるが、これも大変な誤りで、疹麻に罹るとすべての病気殊に結核にたいする抵抗力が大変弱くなり、麻疹の後で全く手のつけられない結核性の病気になることがある。

治癒した後は日光のよく入る空気の流通のよい部屋で起居させて、天気のよい日はできるだけ戸外で遊ばせるように注意することが大切。



海草・海南版

五カ年計画で振興
下津町の建設事業計画決る

農林漁業経営の安定と農山漁民の生活水準の向上をはかり、明るい郷土を建設するため、昨年十月「新農山漁村建設事業」の実施が決定されたが、本郡関係では下津町全域が県から指定されて、昭和三十六年三月末日まで五カ年の計画を樹て、いろいろな事業を行なうことになっている。

下津町の建設事業計画の基本構想によると、先ず土地条件を整備して、水田地力の拡充をはかり、農道、水槽などの施設及び出荷組織の整備によって果樹園芸を振興するなど、石油とミカンの町下津の農地及び果樹育成に力こぶをいれる。畜産についても乳牛や中小家畜の導入により、畜産振興をうながし、港には漁船巻揚施設、共同作業場などの設置も考えられており、そのほか生活改善施設或は農業放送施設の設置など数多い諸事業を予定している。

初年度事業は総事業費七百十五万四千円（補助単独事業四百四十一万七千円、融資単独事業二百七十三万七千円）がすでにあてられており、周到な事前調査や準備のため事業実施が若干おくれてはいるが、海草農林事務所では年度内に目標が完成できるよう推進指導に努力をつづけている。

なお昭和三十一年度における事業種目及び実施地区名、地区数はつぎのとおり（カッコ内は地区名または地区数）

▽簡易農道施設（三地区）▽共同貯水槽（五地区）▽共同船巻揚施設兼漁船修理施設（大崎）▽簡易共同加工施設（塩津）▽農事放送施設（大崎）▽水産協同販売施設兼水産倉庫共同作業所（戸坂）耕地（丁組合、小原組合）

山火事は明るい村を暗くする

活発な討論
郡青年大会おわる

海草郡連合青年団（辻本忠孝団長）では、海草地方指導室の後援と海草地方教育委員会連絡協議会ほかの協賛を得て一月二十六、七の二日間、下津駅前旅館で新旧海草郡の青年約百名が参集して盛大な郡青年大会が開催された。この大会は青年の道徳高揚をはかるための諸問題、封建性を打破して一層女子青年の地位を向上することを主な目標とし、青年が一堂に会しお互い胸襟を開いて検討と反省をする研究の集いとして行われたもので、第一日から活ばつな力強い意見発表などがあり、夕刻は講師を囲んで座談会を開き、青年教育について熱心な討議がすすめられた。

今年はハシカの当り年
むやみに温めると危険

麻疹は俗に「ハシカ」といって冬からそろそろはじまり、春さきに一番多く、また大体一年おきに大流行しているが、今年はこの当り年になっている。

ハシカは小児にとって昔から命取りの病気の一に数えられている大厄で、自然免疫はなく、一生に一度は必ず罹るものと考えて間違いない。病原体はビールスといって、患者の口腔、鼻腔咽頭の粘膜にあり、くしゃみや咳で直接隣、囲の人々に伝染する。したがって発疹の出盛りの時期には、一番伝染力が強く、大体熱が下ると伝染力がなくなってくる。

ハシカは冷すと発疹の出ぐあいが少なく、内攻するから、温めなければいけないという素人考えで、無暗に温めて身体中汗びっしょりにする程着せ、頭から湯気を立てているというような場合があるが、これは誤りで、かえって肺炎などを引き起す原因になる。発疹が充分出るまでは冷すことは避けた方がよいがこれも程度問題で、温めるというより蒸すといったようなことは、必要以上にすると危険である。

ハシカは風にあててはいけないというわけで、治癒した後でも長い間戸外に出さない人があるが、これも大変な誤り。ハシカに罹ると総ての病気、殊に結核に対する抵抗力が大変弱くなり、麻疹の後で全く手のつけられない結核性の病気になることがある。治癒した後は日光のよく入る空気の流通のよい部屋で起居させて、天気のよい日はできるだけ戸外で遊ばせるように注意することが大切である。

北海道へ渡る友情
集つた農家の暖い救援米

冷害のどん底にあえいでいる北海道の農民、特に山間僻地二万七千戸の入植者たちは、生きる喜びを忘れ、笑う元気もなく、僅かに各地から送られる暖かい救援物資に生命をたくしている現状が伝えられているが、昨年十二月十三日郡内の町村長会で冷害に悩む北海道に救援米を送ることを決定した。この報は郡内生産農家の暖い共感と同情を呼び、一戸当り日米一合の割当を超える救援米が集まった。

海草農林事務所では、年末年始にかけて関係職員を動員、救援米の集荷、取りまとめに当っていたが、集まった救援米は六百九十俵、救援金六千八百二十円で、田中所長を始め農務課職員の奉仕で荷造り包装がととのえられ、一月下旬北海道知事あて発送を完了した。

過ぎる二十八年の災害当時、北海道からも暖い救援の手が差しのべられたが、今回である程度そのお返しをしたことになる。

＝写真は集つた救援米の荷作り

猛威を振う流感
マスクやウガイの励行を

昨年末から猛威を振いはじめたインフルエンザ（流行性感冒）は、一時下火になっていたが、本年一月に入ると再びその勢いを盛り返し、郡内では幼稚園を始めとし小、中学の大半は臨時休校や学級閉鎖をしたのをはじめ、一般家庭でも一戸のうち一人以上は流感にかからぬ者なしという猛烈な威力を発揮している。海南保健所では続出する患者の激増に、流行の山は今後にあるものと推定して、先ずこれにかからぬよう、特に抵抗力の弱い老人、乳幼児、妊産婦及び慢性病患者は罹患しないよう十分な注意を望むとともに、かかった場合には早期に治療をうけて家族感染の防止に努めるよう要望している。

▽インフルエンザ患者はもちろんその疑ある者は常にマスクやウガイを励行すること。

▽罹患の場合、患者の唾、鼻汁などで汚染した衣類や寝具食器などの蒸気消毒、液消毒または日光消毒をして、患者は家族とは別室に、重症者には入院治療をすすめて感染の防止に努めること。

好評の分譲住宅
申込は二月十一日から

好評を博した昨年に引続き、県では本年度の分譲住宅四十二戸を和歌山市に建築中であるが、このうち和歌浦団地と吹上団地の購入申込みを二月十一日から受付けることになった。

【和歌浦団地】市電和歌浦口下車東へ二分。十一戸。木造平家一戸建。十二坪五から十四坪二三まで。土地六十一坪から七十一坪つき。分譲価格は八十六万円から九十六万円まで各種（一時払込金は四十三万円から五十二万円まで）

【吹上団地】市電小松原通五丁目下車東へ十三分。一戸。木造平家一戸建、十三坪。土地八十一坪つき（但し借地）分譲価格六十四万円（一時払込金は三千万円）

【受付期間】二月十一日（月）から十六日（土）正午まで。

【申込場所】県庁建築課（申込用紙は実費で領布する）

【申込資格】①県内に居住するか、勤務先が県内にある人。②本人が住むために住宅を必要とする人で、一時払込金を納入できる人。③本人の年収が約一二万六千円以上（吹上）または二万九千円以上（和歌浦口）あり、確実に償還できる人。④同居する家族が本人を含めて二人以上ある人。⑤本人と同等以上の収入ある保証人二名必要。

なお、これ以外に新高団地（市内関戸一六〇）十九戸、塩屋団地（市内塩屋）十一戸を建設中で、新高団地は二月上旬、塩屋団地は三月下旬に申込みを受付ける予定。写真は分譲住宅の外部構造

県下公民館大会ひらく

第二回和歌山県公民館大会は、二月二十六日午前九時から城内労働会館で開催される。

午前中は開会式に引続き、主催者のあいさつ、優良公民館職員の表彰や昭和三十一年度の経過報告と質疑応答ののち「公民館をめぐる諸問題」（講師未定）の講演あり、午後は全体討議を行って午後四時半終了の予定となっている。

なお参加者は公民館関係者、教育委員会と事務局員、社会教育委員、学校教職員その他、社会教育関係団体の代表者となっている。

旧関東州預金者に朗報
債権申込受付は月末まで

旧関東州にあった金融組合はこんど在外金融機関に指定されたが、これらの金融組合に預金などの債権を持っているもので、現在国内に住所を持っているものは、次の要領で債権の申出することができることになった。

一、申出を受ける金融組合＝金融組合令によって設立されたもので、昭和二十年八月十五日現在旧関東州にあった金融組合

二、申出債権の対象＝定期預金、定期積金、特別当座預金、貯蓄預金、国債貯蓄預金および、その他の預貯金。

三、債券申出人の資格＝預金者で現在日本国内に住所を持つているものに限られている。

四、申出期日＝昭和三十二年二月二十八日まで。

五、支払＝申出債権は審査の上確認できる分に限り法定換算率（関東州は十六分の十）で換算の上、支払資金の範囲内で支払われるが、支払資金は極めて少ないので実際の支払額は少額の見込。

六、債権申出場所＝東京都練馬区豊玉北三丁目二十四番地森田良作方、関東州金融組合特殊整理事務所

七、債権申出用紙＝県民生部厚生課か、県引揚者団体事務所にある所定の用紙。なお用紙郵送希望のものは郵送料同封して請求すること。

平年作を予想
海南黒江湾のノリ

県内における「ノリ」（あさくさのり）の養殖は、和歌浦を中心に古くから（徳川中期）発達し、一般に和歌ノリの名称で知られているが、和歌川と毛見崎をはさんで相対する黒江湾のノリ養殖は、漁期当初から比較的順調な水温低下が幸いして、いまの所平年作近い収穫が予想されている。黒江湾のノリ養殖は昭和十一年頃から行われ、当時は和歌川で芽つけした竹ひびを日方川口と名高川口に移入する方法をとっていた。次来漁場も次第に黒江湾の北側一帯に拡がり、現在では琴ノ浦火力発電所から日方川口まで東西約千七百米、南北約五百米の海面に約十四万坪と拡大発展し、これには海南、冷水浦、毛見浦の漁業協同組合員約百四十世帯が従事している。

子供の幸福ねがって
有功村で母親クラブ結成

有功村のお母さんたち八十名は、去る一月十四日、有功小学校講堂に参集し、郡内では美里、川永二町村に引きつづいて、三番目の有功村母親クラブを結成した。

当日は県側から出席の神野婦人福祉司から、母親クラブ運営の実際とその方法について講演があったのち映画を観覧した。この結成には、民生常務委員のたゆまない努力とお母さんたちの固い熱意が美事に実を結んだもので、今後は機会ある毎に会合をもち、母親たちが手をにぎり皆んながお互いに信頼し助け合い、子供の幸福を願ってその育成につとめるとともに、母親自身の教養を一層向上していくことになった。

開設7周年記念

3月競輪

1（金）	2（土）	3（日）
9（土）	10（日）	11（月）

発走 12時

予防接種をうけましょう

- 生後6カ月から12カ月の間
- 小学校入学前6カ月以内
- 小学校卒業前6カ月以内

- 生後6カ月から12カ月の間
- 小学校入学6カ月以内
- 小学校卒業6カ月以内

- 生後3年以上4年未満
- 以後60才まで毎年

- 生後3カ月から6カ月の間
- その後12カ月から18カ月の間

- 生後6カ月以内
- その後30才まで毎年B・C・G接種

くわしいことは市町村役場にお聞き下さい

伊都橋本版

山火事は明るい村を暗くする

果樹栽培の改善へ
盛りあがる一樹一穴運動

伊都地方果樹研究会と伊都農協指導部協議会では、一月から三月末までを「一樹一穴運動」季間として、土壌管理による果樹栽培の改善を呼びかけている。すでに各市町村の要所々々にノボリを掲げているほか、去る一月十八、十九の両日は宣伝車をくりだして果樹栽培農家の実践をうながした。

これは、昔から「果物を作るには先ず土を作れ、土を作るには先ず深耕せよ」といわれているように、果樹栽培の上で最も大切なことは土壌管理であり、今冬のように雨の少い時には特に必要であるところから、果樹一本について少くとも一つの穴を掘り、深耕の効果を挙げようとするものである。深耕によって根の発育が促進され、樹勢に好い影響をもたらして増収が期待できる。今までの庭園栽培から自然栽培へ切り替えようというわけ。

いま進められている「一樹一穴運動」は、深耕の方法としては一番てっとり早いもので、果樹栽培農家にとっては一応農閑期である三月までの間を利用し、ザンゴウ掘り、タコツボ掘り、ダイナマイトによる爆破などの方法で深耕の目的を達しようとするものである。この呼びかけに呼応した農家では、山田地区をはじめ各地で作業に汗を流しており、とくに四Hクラブ員を中心として進めている地区が多くなっている。なおこの運動の関係者は、果樹栽培農家が互に協力して一本も残さず実行し、果樹振興百年の大計を立てるよう望んでいる。

治山工事に着手

高野、伊都で四カ所

伊都地方事務所林務課では昭和二十八年および三十、一年災害による崩壊地の復旧のため、この程伊都町二カ所と高野町二カ所の治山工事の入札を行い、それぞれ一月上旬に着工した。伊都町は二月末、高野町は三月初旬までに完工する予定。工事箇所と工事費は次のとおり。

▽伊都町広口地内＝八十七万二千円▽同平地内＝九十六万八千円▽高野町桐の浦地内＝二百二十二万円▽同神谷地内＝百六十三万円。

九度山チーム五連勝
中学駅伝、雨中に熱戰を展開

伊都地方中学体育連盟主催の第十回中学駅伝競争は、郡市内から十一校、十五チームが参加、一月十二日午前九時から伊都町笠田巡査部長派出所前＝隅田中学間の国道（八区四十四キ）で行われた。

当日はあいにくの雨でコンディションは悪かったが、沿線に並ぶ応援団や観衆の声援にこたえて各チームとも泥んこになって健闘、特に九度山と応其は終始激しいトップ争いを演じ、結局最終区間で応其を大きく引きはなした九度山チームが五連勝をとげた。成績は次のとおり。

◇団体＝①九度山（所田、神保、椿、竹中、中西、岩谷、上田、野崎）2時間14分6秒、②応其2時間16分48秒、③橋本2時間19分34秒、④学文路、⑤見好、⑥紀見

◇区間賞＝一区、上田喬（学文路）▽二区、神保通也（九度山）▽三区、横塚安軌（紀見）▽四区、竹中雅文（九度山）▽五区、中西泰士（同）▽六区、岩谷博（同）▽七区、阪口武司（応其）▽八区、野崎繁雄（九度山）

【写真はスタート直前】

好評の分譲住宅
申込は2月11日から

好評を博した昨年に引続き、県では本年度の分譲住宅四十二戸を和歌山市に建築中であるが、このうち和歌浦団地と吹上団地の購入申込みを二月十一日から受付けることになった。

【和歌浦団地】市電和歌浦口下車東へ二分。十一戸。木造平家一戸建。十二坪五から十四坪二三まで。十地六十二坪から七十一坪つき。分譲価格は八十六万円から九十六万円まで各種（一時払込金は四十三万円から五十二万円まで）

【吹上団地】市電小松原通五丁目下車東へ十三分。一戸。木造平家一戸建、十三坪。土地八十一坪つき（但し借地）分譲価格六十四万円（一時払込金は三十万円）

【受付期間】二月十一日（月）から十六日（土）正午まで。

【申込場所】県庁建築課（申込用紙は実費で頒布する）

【申込資格】①県内に居住するか、勤務先が県内にある人。②本人が住むために住宅を必要とする人で、一時払込金を納入できる人。③本人の年収が約二十二万六千円以上（吹上）または二十九万二千円以上（和歌浦口）あり、確実に償還できる人。④同居する家族が本人を含めて二人以上ある人。⑤本人と同等以上の収入ある保証人二名必要。

なお、これ以外に新宮団地（市内関戸一六〇）十九戸、塩屋団地（市内塩屋）十一戸を建設中で、新宮団地は三月上旬、塩屋団地は三月下旬に申込みを受付ける予定。＝写真は分譲住宅の外部構造

『時間を守ろう』と
朝夕ひびく愛のサイレン

寺沢さん

新生活運動は先ず時間の励行から……と、朝夕二回、自宅に備えつけたサイレンを鳴らし、町民に時間を知らせて喜ばれている。

この寺沢さんはサイレン設置の理由をつぎのように語っている。

「駄目だから、自分一人でも実行しようと思い立った。それには何よりも先ず時間を大切にして、朝は早く起きて一日の計画を立て、夕方は決めた時間に一日の行程を終るようにしようと心掛けた。また町の人にも時間の大切なことを知っていただき、明るく豊かな町を作るために、朝夕一定の時刻にサイレンを鳴らして一般の人に知らせるのが一番よいと考えて設置した。できるだけ多くの人にこの考えを理解し、実行してほしい。

るおじいさんがある。高野口町伏原の寺沢増太郎さん（63）がその人で、昨年一月から地元のお寺へサイレンをとりつけて時間を報じていたが、うまくいかなかったので自宅へ移し、去る一月十五日から朝六時と夕方の五時に正確に自分でスイッチを入れているものである。

子供に理解を……
九度山と天野で母親のつどい

地方事務所では一月十八日午後七時から九度山町保育所、十九日午後一時から天野小学校で、それぞれ「地域社会の子供を良く育成するための母親の会」を開催した。

両地とも多数の母親が集まり映画「川べりの子供達」を観賞した後、この映画を中心にどうすれば子供をすくすくと育てることができるか、について熱心に討議を行なった。その結果、「子供を理解し環境を浄化する」「親は教養を身につけなければならない」など多大の収穫を収め、有意義なひとときを過ごした。

産労住宅に融資
対象は社宅、独身寮

県では本年度の産業労務者住宅の融資申込みの受付を始めており、従業員の社宅や独身寮を建てようという事業場の申込みを待っている。

【受付期間】二月二十日まで。

【申込場所】県庁建築課。（用紙は実費で頒布する）

【申込資格】県内で生産、販売、運送その他の事業を営み、常時五人以上の従業員を使用する事業者。

【貸付条件】①建物の融資対象面積は、世帯向住宅では一戸当りの平均床面積（共同部分を含む）十三坪以内、共同宿舎では一人当り平均床面積（共同部分を含む）四坪以内。②土地の融資対象面積は、共同住宅と共同宿舎では建物の延面積の二倍以内、その他の住宅では一戸当り五十坪以内とする。③償還方法は元利均等の毎月払。

【使用料】入居者から徴収する使用料（家賃）は、原則としてその事業場に使用されている労務者の平均給与ベース（世帯主と独身者を区分して）の一割以内とする。

擴充計画などを協議
地区農協組合長会議おわる

伊都地方農協組合長会議は、一月十四日午前十時から農協伊都支部で関係組合長十九名が集って開催「農協刷新拡充三カ年計画」「販売事業体制確立」「年度末特別貯蓄運動」などについて協議を行なった。

会終了後引き続いて伊都蚕糸農協連合会総会に切替え「蚕糸業運営の在り方」などについて話し合った。なお前会長小林元輔（元山田農協組合長）の死去にともなう後任会長などを次のとおり選任した。

会長＝大西源一（笠田農協組合長）副会長＝米坂岩源（応其農協組合長）

優秀成人を表彰
一位は池宮君と岡崎さん

【一面所報】一月十五日の成人の日に県では昭和三十一年度成人体力健康検査の結果、成績優秀な青年男女を表彰したが、高野口保健所管内の優秀者は次のとおり。

▼一位＝池宮秀旭（高野口町）岡崎勝子（九度山町）▼二位＝道浦眞澄（九度山町）岡山恵津（橋本市）▼三位＝三島邦義（橋本市）堀内圭子（高野口町）

平和と進歩
共同を象徴
九度山町の新町章

九度山町ではさきに町民から町章を募集していたが、この程町章採択専門委員会を構成し、応募作品百五十六点について慎重審議を重ねた結果、公民館出品の作品を採択することにきまった。

新しい町章の円形は円満と平和を、山形は進歩と発展を意味し、この二つを組合せ一致共同を表現しているもの。

伊都町の町営住宅20戸完成
入居者もきまる

昨年九月に着工して工事を急いでいた伊都町営住宅二十戸が、一月二十日に完成した。同住宅は木造平屋建、スレート葺で、一戸の建坪は八・五坪。なお一月二十一日午前九時から笠田公民館で抽せん会を行い、入居者二十名を決定した。

運動不足にご注意
冬の乳牛の飼育管理

○……牛舎がよく乾燥して通風採光が適切であれば、温度は零度でも十度でも乳の量に大差はないといわれるが、牛舎の冬の隙間風は牛の感冒や肺炎など呼吸器疾患を起しやすい特に牛床が湿潤していて隙間風が入る牛舎では仔牛は極めて下痢を起しやすいから注意が必要。

○……冬は日照時間が短かく、また天候の関係などで、乳牛の運動も不足がちとなり、日光に浴する機会が少いので、ビタミンDが欠亡しやすい。ビタミンDが不足すると骨格の形成が悪くなり、ビタミンAやカルシウムを与えてもその機能を十分に発揮することができない。従って、晴れた日には必ず二時間程度の日光浴をさせるとともに、よく手入れをしてやると、血行がよくなり、寄生虫の予防にも役立つ。

○……また濃厚飼料を多く与えて運動が不足すると、卵巣のうしゅその他の病気を起しやすいから、青草を多く与えることが必要である。

開設7周年記念

3月競輪

1（金）	2（土）	3（日）
9（土）	10（日）	11（月）

発走12時

予防接種をうけましょう

・生後6カ月から12カ月の間
・小学校入学前6カ月以内
・小学校卒業前6カ月以内

・生後6カ月から12カ月の間
・小学校入学6カ月以内
・小学校卒業6カ月以内

・生後3年以上4年未満
・以後60才まで毎年

・生後3カ月から6カ月の間
・その後12カ月から18カ月の間

・生後6カ月以内
・その後30才まで毎年B・C・G接種

くわしいことは市町村役場にお聞き下さい

有田版

山火事は明るい村を暗くする

若人の前途を祝福
『成人の日』を記念して

管内で本年満二十才を迎える若人は千五百人（男七六一人、女七三九人）あるが、一月十五日の成人の日には、各町村で新しい門出を祝福する記念行事が盛大に催された。

【湯浅町】該当者は二百四人、湯浅小学校で祝賀式を行い、記念に印鑑を贈ったほか、昨年ソ連から帰国した鈴木啓二郎さんを講師に迎えてソ連の実情などを聞いた。なお押出欽吾君と押出喜久子さんが優秀成人として知事から表彰された。

【広川町】該当者は百八十四人で記念式は耐久中学校で挙行、印鑑とアルバムが贈られた。また婦人会は心づくしの手料理で若人たちの前途を祝福した。なお酒井進君は優秀成人の郡一位として、同日縣庁で知事表彰をうけた。

【吉備町】吉備隔等学校で盛大に記念式を行い、該当者百九十六人に記念品として県民手帳と洋服かけを贈った。

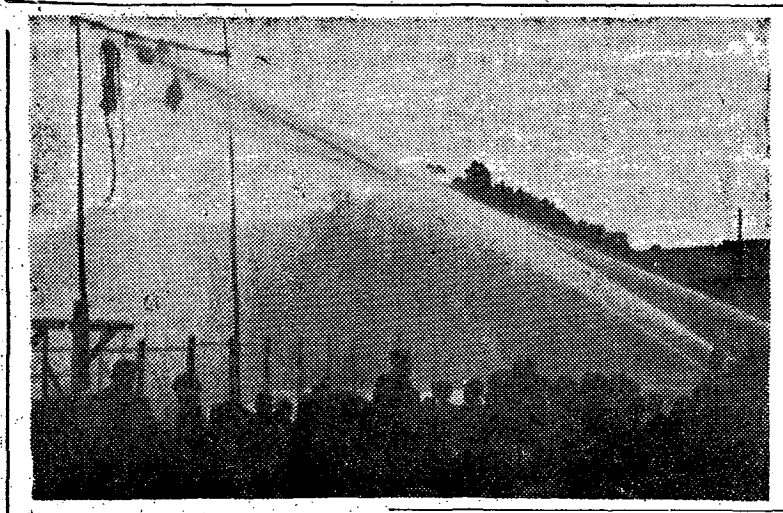
【金屋町】天映劇場で該当者二百三十七人に県民手帳を贈り、各団体代表が祝福した。

【清水町】中央公民館で成人式を挙行、百三十四人に印鑑と県民手帳を贈り、優秀者四人を表彰した。

【岩倉村】役場会議室で四十四人の該当者に印鑑を贈り、青少年問題について座談会を開いて有意義な一日を送った。

【五村】五郷中学で成人式を行い、十五名に県民手帳と印鑑を贈って前途を祝った。

【有田中】箕島第一小学校で式を行い、各人に記念品が贈られた。垣内久子さんと桑原春代さんが優秀成人として知事表彰を受けたほか、二人が市長から表彰された。また市内の四映画館は無料入場券を新しい成人に贈った。



産労住宅に融資
対象は社宅、独身寮

県では本年度の産業労務者住宅の融資申込みの受付を始めており、従業員の社宅や独身寮を建てようという事業場の申込みを待っている。

【受付期間】二月二十日まで。

【申込場所】県庁建築課。（用紙は実費で頒布する）

【申込資格】県内で生産、販売運送その他の事業を営み、常時五人以上の従業員を使用する事業者。

【貸付条件】①建物の融資対象面積は、世帯向住宅では一戸当りの平均床面積（共同部分を含む）十三坪以内、共同宿舎では一人当り平均床面積（共同部分を含む）四坪以内。②土地の融資対象面積は、共同住宅と共同宿舎では建物の延面積の二倍以内、その他の住宅では一戸当り五十坪以内とする。③償還方法は元利均等の毎月払。

【使用料】入居者から徴収する使用料（家賃）は、原則としてその事業場に使用されている労務者の平均給与ベース（世帯主と独身者を区分して）の一割以内とする。

訓練の成果示す
湯浅町　恒例の消防出初式

湯浅町消防団恒例の出初式は、郡内のトップを切って一月二日に、折からの寒さと雨をついて挙行された。

優良消防団員の表彰、放水試験など日頃の訓練の成果を十分発揮し、多数の参観者に大きな感銘を与えた。

なお、郡内各町村の出初式日程は次のとおり。

▽二月一日＝広町▽二月三日＝岩倉村、五村▽二月五日＝清水町▽二月六日＝吉備町、金屋町。

＝写真は湯浅町消防団の玉割り競技

写真はビニール・ハウス

特産品をめざして
野菜の促成栽培始まる

暖地での野菜の促成栽培は各地で年々増加しているが、広川町でも初めての試みとして恵まれた気候を利用し、キュウリを主体としたビニール・ハウス、トンネル栽培をはじめた。

本年度の栽培面積はビニール・ハウス八百坪、トンネル栽培一町二反歩であるが、将来は特産物にしようと研究会も結成して張切っており、収穫期が大いに期待されている。

地方事務所経済課ではハウスの建設に対する融資や栽培の指導をしているが、特に販売面を重視しておや、産地として発展するには個人的に出荷していては目的を達せられないので、業者が速く団結して共同出荷販売を実行するよう望んでいる。

女が一千人多い
郡内の有権者四〇三四七人

昨年十二月二十日に確定した郡内の基本選挙人名簿によると、登録人員数は四万三百四十七人（男一九二七六人、女二〇七一人）となっている。町村別内訳は次のとおり。

▽湯浅町一〇三八人▽広川町五六二五人▽吉備町七七八二人▽金屋町八二二四人▽清水町六一二一人▽岩倉村一五二〇人▽五村六八七人。

（註）選挙人名簿は選挙権のある人の氏名を登録した名簿で、これに登録されていないと、選挙権のある人でもそれを行使することができない。

基本選挙人名簿＝毎年九月十五日に、引続いて三カ月以上同じ市町村に住んでいる人で、十二月二十日で満二十才以上になる人を登録する。

補充選挙人名簿＝前者ができた後で選挙権を得た人を、選挙が行われる都度登録する。

休養と睡眠を十分に
流感　人混みも避けること

全国的なインフルエンザの流行とともに、有出地方でも昨年末から一月にかけて、海岸部から山間部へ流感が侵入している。すでに小、中学校で休校または学級閉鎖の措置がとられたもの十三校に達し、推定患者数は三千人（一月二十二日現在）に及んでいるので、湯浅保健所では次のように注意している。

○……今度の流感は例年より少し早く起ったもので、早くおさまる地区もあるが、従来の統計によると三月―四月が頂上と見られる。また全般に軽症といわれているが、死亡例もあるから楽観できない。

○……過労や不摂生はカゼの出勤を控え、やむをえぬ場合はマスクをかけて出ること。

○……患者はなるべく登校や出勤を控え、やむをえぬ場合はマスクをかけて出ること。

なお、家庭で養生するときはできるだけ別室に寝ること。

○……患者のタンや鼻汁で汚れた紙片などは焼きすてること。また患者の居室の掃除は濡れた雑布で拭くとともに室内の換気を十分にすること。

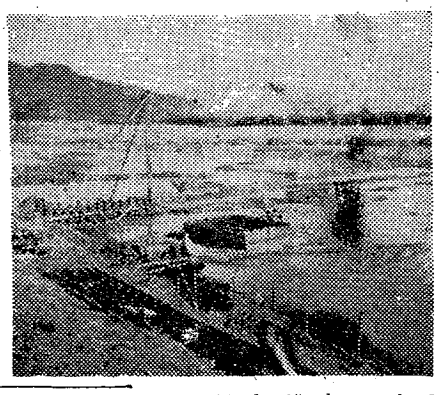
もとになるから、睡眠と休養を十分とるよう心掛けて抵抗力を養うこと。人混みの中へ出ることは極力避け、外出から帰った時はウガイを励行すること。もしカゼをひいたら無理をせず、十分休養することが大切。

170町歩をうるおす
宮原井堰、待望の着工

縣営の有田川耕地災害復旧工事は三つの井堰（安田、宮原、吉備）を除いて殆んど完了しているが、残った三つの堰も保田頭首工は昨年十月に着工、宮原頭首工は工費約六千八百五十万円で一月十八日に起工式を行なった。

新しい宮原井堰は、重力式溢流コンクリート堰で、可動堰三十㍍、固定堰七十九㍍、鉄矢板打込み三十㍍、堰幅百五十七・二㍍、堰長十三㍍という堅固なもの、取水量は一トンとなっている。

この工事に要する資材はセメント約二万三千五百袋、鉄矢板三十八㌧で、郡内では二番目の大きな工事である。この堰が完成すれば、宮原地区百七十町歩の耕地に完全灌水ができることになり、旱害の心配はなくなるわけである。



＝写真は宮原頭首工の建設現場

深耕と施肥に重点
柑橘園今月の農作業

【深耕】柑橘の根が土中で深く拡がると、樹の発育が盛んになり、従って収量も多く、また翌年結果の防止にも役立つ上に、施肥量も少くて済み寒害や旱害に対しても強くなる。本年は柑橘は全般的に裏年である関係で、枝がよく伸びると同時に根の伸長も盛んになるから、深く耕して根の発育を助けることが大切である。深耕の方法は、隋段畑にはタコツボ法が最適。二月から三月へかけて一樹に一個ずつ、枝が張った外縁の下に夕コツボを掘り、粗材有機物と土とを交互に八割程度まで埋め、あとは残して余った土は根元へ寄土する。この方法を数年間連続して樹の周囲を全部深耕するわけ。

【春肥】裏年の施肥量は表年より少くするのが当然で、多すぎると過大な新梢ができ、落果の原因にもなる。反当六十本植の中程度の土壌では、年間施肥量は窒素六貫目、燐酸四貫目、加里五貫目で、そのうち春肥には窒素四五％、燐酸五〇％、加里四〇％程度でよいが、寒地や本数の多い場合は年間二割程度多く施す。なお春肥は二月下旬から三月にかけて、できるだけ深く、全面に施すこと。

乳で体力増強へ
七日まで乳製品まつり

二月一日から七日まで県下一斉に「乳・乳製品まつり」が実施される。これは乳および乳製品の知識を向上するとともに、これを多用することによって栄養改善と粉食の奨励に役立たせようとするものである。

牛乳や乳製品は栄養の増強に最も必要なビタミン類、脂肪、蛋白質、無機塩類（鉄・カルシウムなど）が豊富に含まれ、消化に最適の状態になっている。従って乳児や病人など胃腸の衰えた人でも、十分吸収することができるわけ。もちろん、丈夫な人が毎日用いれば、より以上に体力を保ち、また増強することができる。

なお期間中の行事としては、乳および乳製品の料理講習会や座談会などを湯浅町と有田市、金屋町の三カ所で開催することになっている。

和市で県下公民館大会

第二回和歌山県公民館大会は、来る二十六日午前九時から和歌山市城内労働会館で開く。午前中は開会に続いて優良公民館職員の表彰や昭和三十一年度の経過報告、質疑応答の後「公民館をめぐる諸問題」について講演がある。午後は全体討議を行って午後四時半終了の予定。

なお参加者は公民館関係者、教育委員、同事務局員、社会教育委員、学校教職員、その他関係団体の代表者など。

開設7周年記念

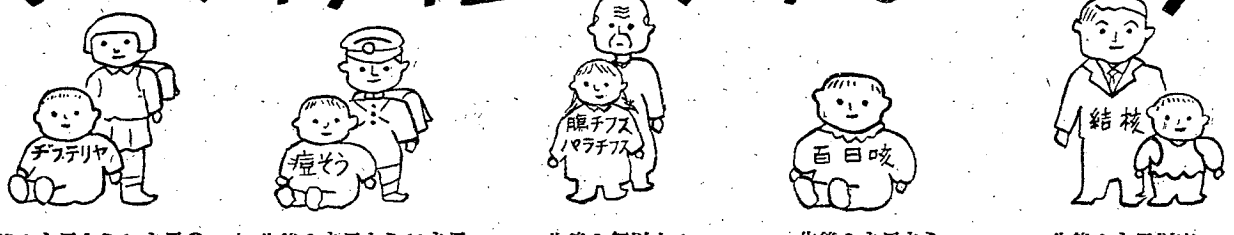
3月競輪

1（金）　2（土）　3（日）

9（土）　10（日）　11（月）

発走12時

予防接種をうけましょう



・生後6カ月から12カ月の間
・小学校入学前6カ月以内
・小学校卒業前6カ月以内

・生後6カ月から12カ月の間
・小学校入学6カ月以内
・小学校卒業6カ月以内

・生後3年以上4年未満
・以後60才まで毎年

・生後3カ月から6カ月の間
・その後12カ月から18カ月の間

・生後6カ月以内
・その後30才まで毎年B・C・G接種

くわしいことは市町村役場にお聞き下さい

目高御坊版

山火事は明るい村を暗くする

木炭の試作に成功

利用価値高まるユーカリ

日本で始めてのユーカリ美林と称えられ、その成林の見事さと生長の旺盛さを誇っている日高町のユーカリ林に刺激されて、日高町周辺や南部町周辺のユーカリ造林の試みは特に目立っており、今年も四、五月頃に郡内で百町歩の造林が行われると見られている。

成長の早い日高町上志賀で過日三十二年生のユーカリ（グロブラス種）を伐採した結果、胸高直径一尺九寸、樹高七十六尺、材積十一石であった。利用価値測定のため日高郡木炭協会で木炭として製炭を試みたところ、白炭の場合硬度一一度、収炭率一二%で、火鉢で使っても爆跳立消えなどはなく、なら炭程度であることが明らかとなった。製紙原料、糖化原木としてまた坑木、枕木などにも適していることは知られており、ユーカリ栽培の見通しは明るい。

またユーカリ油の製造施設ができれば幹枝や葉が完全に利用されることになる。

ユーカリの造林を成功させるために次の注意が要る。

▼水はけのよい南向の緩傾斜地で肥沃地を選ぶ。

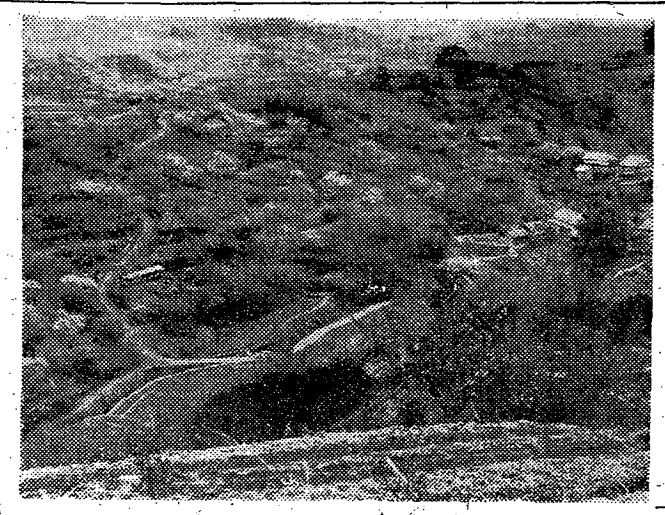
▼風衝地をさける。

▼地拵及植付初年度の手入は特に丁寧に行う。

▼植付穴を大きく深く掘ること。

▼出来得れば施肥する。

▼活着率を高めるため特に苗木の選定取扱に注意する



【写真は日高町で伐採したユーカリの根本丹艪】

全町挙げて新生活へ

成果の蔭に岡原さんの努力

（川辺町）

昨年度縣下新生活推進総合第一位に入選した川辺町では、年明けと共に公民館、婦人会、青年団、友の会らの協力で各種の事業推進に拍車をかけ、新しい住みよい村づくりに乗り出している。本年に入ってすでに五組の改善結婚式をあげ、食生活の改善、住宅の改善などに町民一丸となって取り組んでいる。

こうした輝やかしい成果の中に生活改善友の会々長岡原宏枝さんの蔭の力も見逃すことが出来ない。

岡原さんは当年三十九才の農家の主婦であるが、三年前会長に推薦されると同時に、封建的な農家の生活様式から脱皮するため、あらゆる困難を克服してグループの育成に力を注ぎ、年輩者、中堅者、若妻組とグループも年令別に組織、同じ悩をもつグループ員によって着々仕事をはじめ、今では月一、二回のグループの集いが会員の楽しみとなっており、新生活運動推進の源となっている。友の会運営について岡原会長は最初友の会を結成した時はとや角いう人もありましたが、会員が心を一つにして、何事も率先して友の会が引き受けてやってきましたので、男性側も自然と協力してくれるようになりました。縣下で第一位に入選出来たのも会員並びに男性側の協力のお蔭です。と語っているが、自分らの生活改善は自分らでやろうという手をつないだ協力の賜であり、今後も今までの実績により検討が加えられ、推進されることになっている。

集団移民に期待

南部川村と龍神村で三十家族送出を計画

他郡にくらべ活発であった郡内の移民は、難民移民以来やゝ低調と見られているので、海外協会日高支部と地方事務所では昨年末龍神村、南部川村で宮崎県移民課長を招いて海外移住に関する懇談会と映画会を開催した。

龍神村、南部川村はいずれも三村合併したが山地が多く、ほとんど田畑に恵まれず災害復旧の仕事もなくなり、適当な職場も少ない位である。

それに戦前及び戦後ブラジル移住者として多数渡伯しているので、他町村よりは海外移住の希望者が多い。

村当局では特に集団移民を計画本年度中に龍神村で十家族、南部川村で二十家族の送出に力こぶを入れ、二月上旬第二回の移住懇談会を開き具体案を決定することになっている。

これについて県でも大いに協力して、受入れ先の実情で入植してやってゆけるかどうかを早急に実情調査する動きにあり、海外協会日高支部としても近く適当な人に現地視察を依頼することになっている。集団移民にも各方面から期待されている。

南部の梅

新六品種を育成

指導者得て全国一めざす

二月に入ると田辺の田鶴の梅林に引続き南部、南部川にまたがる三百余町の梅林は可愛い花を咲かせ、京阪神地方はいうに及ばず関東方面からも観光客がおしよせる。

この日本一の梅林も徳川時代はほとんどなく、あちこちに散在していた程度であったが、明治十九年南部川村晩稲内本源蔵氏が山地を開墾して二百町歩に植えたのが始まりで、十賞が梅栽園も荒廃したが、最の時代から品質の時代に変遷した現在では果肉の多い核の小さい品種を生産するのが先決問題であるので昭和二十六年から南部川村長谷本勘蔵氏らを中心に新品種の育成に力を注いでおり、梅の全国的権威者南部高校竹中勝太郎教官を指導者に迎え地元栽培農家の協力を得て白玉、改良内田、薬師地蔵、南高、養青の六新品種をつくり、昨年より苗木育成を始める段階まで進み、全梅園をこれら新品種に切換えるのも近い将来だろうとみられている。

年産二万余石、金額にして二億円を突破する日本一の梅林、梅漬けや梅干として、また青梅として全国各地の市場に販売される。香港経由中共、東南アジア向の輸出も多く、自衛隊の需要量も増加している。

培に適すると共に気候風土が最適であったため急激に増加、日清、日露の戦争により予期せぬ梅干景気にめぐまれ、競って植栽した結果、現在の大梅林を形成した。

戦時中の肥料資材の不足から梅

【写真は梅林の遠望】

歴史浅いが良質

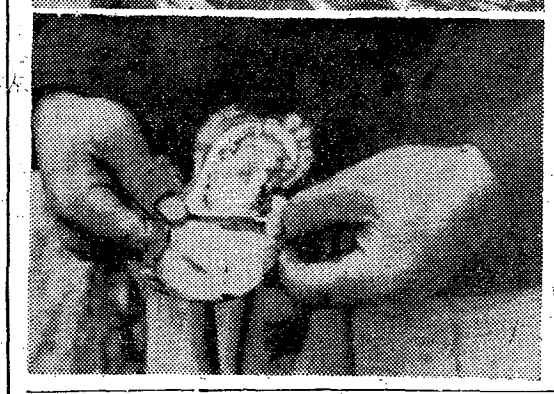
脚光あびる由良の真珠養殖

由良町糸谷吹井一帯の海面に浮かんだ筏を、道行く人は珍らしがっているが、これこそ時代の花形、本郡唯一の真珠養殖場の風景である。由良湾の養殖真珠歴史は浅いが良品質の真珠が生産される。

現在のところ百台の筏を浮べ、筏一台に八十籠をつけて真珠を養殖している。

あこや貝は三重県から取り寄せ六月から十一月頃までの期間に貝の中へ珠を入れる。小さいもので一年半位、直径八ミリもある大きいものは三年もかゝる。冬の間はそのまゝ放っておくが時々あこや貝の表面につく牡蛎、フジツボを除去するのが作業だという。

昭和二十九年頃から養殖し始めたので今までには多量に生産されていないが、数年後にはかつての軍港田良湾も時代の寵児、外貨獲得の花形として大きく浮び上ってくるであろうと期待されている。



＝写真は真珠養殖場と珠を入れられたあこや貝

巡回相談など

問題児対策に乗り出す

日高地方事務所民生課では、児童福祉行政の基礎とするため郡市内の各種問題児童の調査を行っているが、すでに八分通り判明した。その結果によると身体障害児二百四十九名、精神薄弱児二百九名、要教護児四十九名、要養護児四十名、長欠不就学児二百四十三名で合計七百九十名の多くにのぼっている。この結果にもとずき、いろいろの対策が考えられることになるが、さしあたり縣中央児童相談所とタイアップして問題児童の多い地区として御坊市、美浜町、由良町、南部町、切目川村、また奥地の美山村、龍神村の問題児童を対象とした巡回相談を行う計画が立てられている。

【完成した御坊市庁舎】

市庁舎完成

昨年六月十日起工して、工事中であった御坊市役所鉄筋二階建庁舎は、昨年十二月末完成、執務を開始している。

この庁舎は建坪一二三坪、二階一二三坪の鉄筋コンクリート二階建で、工事費千百五万円の堂々たるもの。

階上は議会事務局、大小会議室、階下は市長、助役、応接室、及び総務課となっている。

好成績の才末愛の運動

昨年暮、めぐまれない不幸な人びとのために隣人愛を集めて行われた「才末、愛の運動」が実を結び、美山、中津、龍神村など旧正月の町村を除いてほとんど完了するという好成績をおさめた。その結果、醵出された金品（九カ町村の合計）は現金十五万五千二百円、米六石八斗四合、麦一升二合、衣類四百七十二点、鉛筆二百四十本、ノート六十三冊、炭三千五俵、古雑誌二百冊となり、生活困窮者児童福祉、養老、救護施設にそれぞれ分配した。

成人の日に表彰

御坊保健所では管内の成人体力健康検査を行い、優秀者を選んでいるが、一面所報のとおり今年も去る成人の日に縣庁で郡一位の森田君と平林さんが表彰された。なお同保健所管内の二、三位は次のとおり。

【二位】男子井上茂（御坊市薗）女子織田登子（同市湯川町）

【三位】男子竹村嘉晃（川辺町三百瀬）女子玉置和代（日高町産湯）

自衛官を追加募集

昭和三十一年度二等陸海空士自衛官の四次追加募集が次の要領で実施される。

募集締切は明ろう十五日となっていたが、追加に伴う特別措置として採用試験の当日迄受付けられることになっている。

採用試験は一月二十九日西牟婁地方事務所で行う。

開設7周年記念

3月競輪

1（金）	2（土）	3（日）
9（土）	10（日）	11（月）

発走12時

予防接種をうけましょう

・生後6カ月から12カ月の間
・小学校入学前6カ月以内
・小学校卒業前6カ月以内

・生後6カ月から12カ月の間
・小学校入学6カ月以内
・小学校卒業6カ月以内

・生後3年以上4年未満
・以後60才まで毎年

・生後3カ月から6カ月の間
・その後12カ月から18カ月の間

・生後6カ月以内
・その後30才まで
毎年B・C・G接種

くわしいことは市町村役場にお聞き下さい

西牟婁・田辺版

完成へあと一息
三月には送電開始へ
殿山發電所

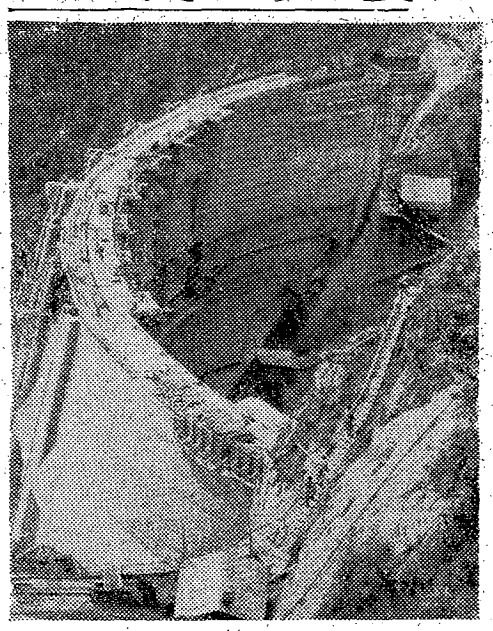
大塔村合川に築造中の関西電力殿山発電所（出力一万五千キロワット）はすでに九分通り出来上り、日本人技術者の手で始めて造るというアーチ式ダムだけに、陽春三月の発電開始に期待がよせられている。

総工費二十七億二千万円の巨費と延二十五万人の労力を投じている合川ダムは、えん堤の高さ六十二米、長さ百二十八米で、セメント約二十四万袋で造られたが、このえん提によって日置川上流の前ノ川と将軍川の合流点を厚いコンクリートの巨大な壁で流れをせき止め、周囲約九里に及ぶ人造湖が出現する。

この半円形の曲線をもつ美しいダムは湖水を調節する六つの水門（ゲート）と更に上部には余水はけ六門とを持ち、洪水で水が越すような場合は、中央六基の水門から放水されることになる。ダムの水は取水塔からトンネル水路で日置川殿山を経て発電所に送られ、ここでカプラン水車の巨大な羽根で発電機が動かされる。

防災と発電の一石二鳥をねらったダムが完成すれば山峡は一大感観を呈し、人造湖は貯水とともに祖先伝来の農地三万五千坪を始め宅地、山林を湖水の底に沈めるが、旧三村の役場や小学校、民家など約七十戸は補償による新しい宅地に移転しており新設の橋、道路などもすでに出来上って、将来は観光地としてまた産業発展の原動力として大きな期待がかけられている。

＝写真は完成間近い合川ダム



山火事は明るい村を暗くする

優秀成人として竹中君らを表彰

【一面所報】昨年八月一日から十月三十一日までに実施した昭和三十一年度成人体力健康検査の結果、成績優秀な青年男女を成人の日の一月十五日に知事から表彰したが、田辺保健所管内の優秀者は次のとおり。

▽第一位＝竹中清雄、和田黎子（田辺市）▽第二位＝浦田秀男、武井久子（田辺市）▽第三位＝榎本恵次（日置川町）中山瑤子（牟婁町）

なお、田辺保健所管内の昨年度成人体力健康検査の該当者は千三百七名で、千百七名が受検し受検率は八四・七％となっている。

二・三男対策に
大段地区開拓計画進む

牟婁町大段地区の開拓計画は昨年七月、山林実測面積六十八町五反歩を買収したが、開拓幹線道路として巾員三尺、延長三千二百尺、支線千五百尺を建設する。

営農計画は柑橘（早生温州、夏柑、八朔、三宝）を主体とした果樹園芸をとり入れ、営農配分面積は入植者一戸当り農地となる十地一町歩＝一町二反歩、付帯地三反歩＝五反歩、増反者二反歩＝三反歩を配分する計画で、住宅は地区内で最も安全で水利などの便利な場所をえらび、集団生活を営む方針で、新農村を建設しようと張切っている。

開拓事業の開始は三月中旬になる見込みで、入植適格者を県で選衡するが、地元の二・三男対策の一つとして、優秀な青年の入植を望んでいる。

乳で体力増強を
多彩な催で普及はかる

県では二月一日から七日まで"乳・乳製品まつり"を県下各地でおこなうが、和歌山市内では丸正百貨店四階催場で乳、乳製品の展示会をするほか、七日には市民会館で盛りたくさんな催しとともに、乳や乳製品の知識と消費普及を呼びかける。

牛乳は完全食品といわれているように栄養的には優れた食品だが、ともすると乳や乳製品は病人や子供用だと早決めする人たちが少なくない。

この原因は私たちの食生活が米食を中心に発展し、乳や乳製品になじめなかったからだとも考えられるが、最近では学校給食や食生活改善の啓蒙などで、栄養改善の意欲が高まり、これらの食品の消費が年々上昇してきている。

私たちの食事の大きな欠点は皿や筋肉を作るのに必要な動物性の蛋白質と、骨や歯を作るのに必要なカルシュムのとり方が少ないということで、これらの栄養素は乳、乳製品にふんだんに含まれている。

からだの潤滑油の役目をするビタミンやミネラルなども他の食品にはみられないバランスで含まれ、しかもコロイド状に消化吸収されやすい形になっている。乳や乳製品はこのように健康の増進をはかるばかりではなく、乳に豊富に含まれているビタミンB2によって美容と若さを保ってくれる。特に子どもの発育に大きな役割をする。

例えば、バターは牛乳中の脂肪分を集めて作ったものであるが、これは私たち日常使っている油脂類の中で最も消化吸収によく、病気にかからない強い抵抗力をつける働きをもつビタミンA、骨の健康と発育になくてはならないビタミンDなどを豊富に含んでいる。またチーズは牛乳の風味と牛乳に含まれる栄養素をそのまま濃縮した醗酵製品で、脱脂粉乳はバターを作った残りの脱脂乳を乾燥したものであるが、これも良質のカルシュウムを含んだ食品は他になく、衛生部や保健所では安心できる食品として常に衛生検査や成分検査を実施している。

伸びる暖地園芸
出荷調節で価格維持

県内に先がけて暖地園芸を推進している郡内のキュウリ栽培は昨年十二月中旬でも早くも播種され、比較的恵まれた天候が幸いして順調な発育を示し、ハウス栽培の早いところでは二月中旬でも定植にかかり、三月始めに終る予定である。

本年のビニールハウス栽培は県内栽培量の四十七％を上廻る二万七千坪、トンネル栽培は二十六％の四万三千五百坪の計画で進められ、収穫も昨年の五倍に当る二十万貫が見込まれており三月下旬から四月初めには出荷を予定している。

特に販売面では出荷統制を確立するため、販売対策委員会が設置されて出荷の調節と価格の維持はかることになり、一層栽培の安定感が増した。

なおハウス栽培では一段と経営の合理化を推進するため、前後作がいろいろ研究されており、現在菊の抑制栽培を中心に球根類の促成などがかなり栽培され、なかでも電照菊ストックは出荷の最中で好成績をあげている。

写真はビニールハウスのキュウリ栽培

友の会実績發表大会ひらく

西牟婁郡の生活改善友の会実績発表大会は二月四、五の二日間に田辺市公会堂とすさみ町衆楽座でそれぞれ開催されるが、このうちの優秀者は二月二十二日和歌山市で開催される予定の県下大会へ出場することになっている。

古賀浦海面で真珠貝を養殖

田辺湾の漁撈に従事していた漁業者の失業対策事業として、昨年末決定された真珠養殖事業が、いよいよ四月から始められることになり、着々と準備が進められている。

養殖場になる所は、いままで釣漁業の餌に使うイワシを採っていた田辺湾口で、真珠養殖への転換にかける期待は非常に大きく、それだけに漁業者も張切っている。この真珠事業は法律で生産量が規定され、本県の枠は百七十七万五千貫で既に各養殖業者に割当ずみで、現在この増量方を県及び業者が一丸となって関係当局へ陳情している。

先づ第一年度事業として五千万円を投じ、五百台のタンポ（養殖筏）を古賀浦海面に浮べる予定で、延従業人員は三万人と見込まれている。

十津川往來の足掛り
＝橋梁などの施行本決り＝

本県の中央部を東西に横断して熊野川上流の十津川へ通じる林道（滝の口―舟生の川線）の開設は、かねてから沿線住民の合言葉になる程待望されていたが、いよいよ昭和三十一年度工事として、その足掛りとも言える橋梁七十八米取付林道八十四米の施工が本決まりになり、国費県費及び地元負担金を含む千百万円の工費で着工されることになった。これに伴う起工式が昨年の十二月二十六日西牟婁との郡境、日高郡龍神村丹生の川の加財現場で、県側から知事代理、山本農地農林部次長が出席して、おごそかに挙行された。

写真は加財現場での起工式

今年はハシカの当り年
むやみに温めると危い

麻疹は俗に「ハシカ」といって冬からそろそろはじまり、春さきに一番多く、また大体一年おきに大流行しているが、今年はこの流行年に当っている。

ハシカは小児にとって昔から命取りの隠一に数えられている大厄の一つで、自然免疫はなく、一生に一度は必ず罹るものと考えて間違いない。病原体はビールスの一種で、患者の口腔、鼻腔、咽頭の粘膜にあり、くしゃみや咳で直接周囲の人々にうつる。したがって発疹の出盛りが一番伝染力が強く、大体熱が下ると伝染力がなくなる。一般には冷すと発疹の出くあいが少なく、内攻するから温めなければいけないという系人考えで、むやみに温めて身体中汗びっしょりにする程着せ、頭から湯気を立てているというような場合があるが、これは誤りで、かえって肺炎などを引き起す原因になる。発疹が充分出るまでは冷すことは避けた方がよいが、これも程度問題で、蒸す程温めるようなことは必要以上にすると危い。

麻疹は風にあててはいけないというわけで、治った後でも長い間戸外に出さない人があるが、これも大変な誤りで、ハシカに罹るとすべての病気、殊に結核にたいする抵抗力が大変弱くなり、後で全く手のつけられない結核性の病気になることがある。

治癒した後は日光のよく入る空気の流通のよい部屋で起居させて、天気のよい日はできるだけ戸外で遊ばせるように注意することが大切。

和歌山県下公民館大会
第二回和歌山県公民館大会は、二月二十六日午前九時から城内労働会館で、公民館関係者、教育委員会と事務局員、社会教育委員、学校教職員その他社会教育関係団体の代表者が集まって開催される。

木造二階建ですさみ庁舎完成

佐本村、大都河村を合併して、いち早く新しい町政の建設を目指してスタートしたすさみ町では、産業振興のため五カ年計画を樹てて着々推進しているが、この程第一年度事業の一つとして現役場庁舎が木の香も新らしく完成した。新役場は木造二階建延百四十坪の広さで、階下は事務室、階上は会議室になっている。

なお旧庁舎は今後、公民館として使用される。

開設7周年記念

3月競輪

1（金）　2（土）　3（日）
9（土）　10（日）　11（月）

発走12時

予防接種をうけましょう

・生後6カ月から12カ月の間
・小学校入学前6カ月以内
・小学校卒業前6カ月以内

・生後6カ月から12カ月の間
・小学校入学6カ月以内
・小学校卒業6カ月以内

・生後3年以上4年未満
・以後60才まで毎年

・生後3カ月から6カ月の間
・その後12カ月から18カ月の間

・生後6カ月以内
・その後30才まで毎年B・C・G接種

くわしいことは市町村役場にお聞き下さい

東牟婁・新宮版

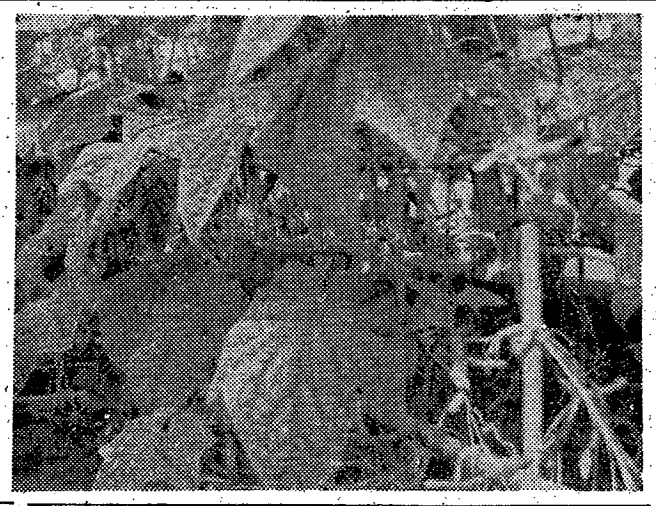
盛んな暖地園芸
早やキュウリも花ざかり

太地町鯨拓団では十二月下旬から一月にかけて収穫するキュウリの促成栽培を行っているが、百坪余のビニールハウスは目下キュウリの花ざかりで、一本十円の高値で取引され非常な好成績を収めている。

またこれと並行して那智勝浦町太田村、下里町、太地町、古座町の海岸町村では三月下旬から収穫する半促成キュウリの栽培を三千余坪のビニールハウスで行なっている。

なお昨年まではビニールトンネルのキュウリの早熟栽培が大部分であったが、収穫期が四月下旬から五月上、中旬になり、京阪神の市場に出荷すると、すでに大阪、京都、奈良の方からも多量出廻っており、これらと競争するため比較的値段が安くなるので、今年は収穫期をコントロールして比較的出荷の少ない三月下旬から四月にかけて出荷するような計画のもとに半促成栽培を採用したのである。播種は十二月下旬で、一月上旬と下旬に移植を行い、二月下旬ハウス内に定植して三月下旬に収穫されるものでその成果に期待がよせられている。

【写真はキュウリの促成栽培】



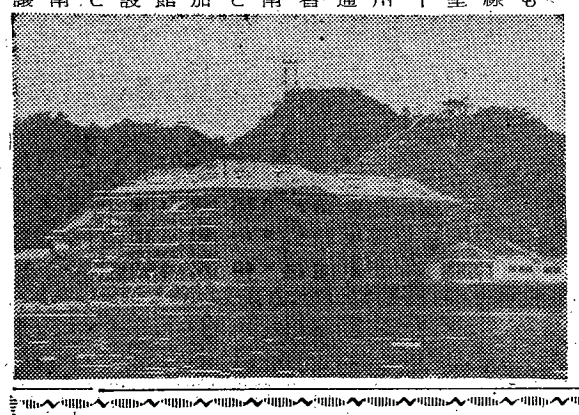
経済林の育成へ
ことしの植栽は九百本

春の造林時期になり、苗木の入荷や地ごしらえに大童であるが本年度の郡内及び新宮市の植栽面積は二千三百五十七町八畝でこれへ植栽する苗木は九百万本である。苗木はヒノキ四十四%、スギ四十一%、クロマツ十%、アカマツ五%となっており苗木の大半は地元でまかなわれるが四百万本程度は他の地方から購入される。

ことしの造林計画を見ると林種転換が全体計画の三十九%を占め、人工造林地が次第に拡大され経済林の育成が目立っている。

旅館建築に活況
紀勢線全通を見越して

熊野川の電源開発や奥地森林開発のため一躍時代の脚をあびている熊野路は、観光地としてもよく、紀勢東線や紀勢西線の全通、国道百六十八号線（通称川丈道路）の開通を見通し、那智勝浦をはじめ南紀の各温泉地では観光客の増加を見込んで旅館の増改築、施設の拡張に懸命である。一方、南紀観光連絡協議会では観光客の増加につれ、受入れる観光地住民の接遇の改善や、観光客に明るい人情豊かな観光地であるという印象を与えなければならないと、各地区観光協会を通じ観光意識の高揚を呼びかけている。



【写真―観光客の増加を見込んで建築する旅館】

椎茸抑制栽培はこうして

太田村中ノ川に設置した椎茸抑制栽培技術展示場は好成績を収めたが、この栽培について地方事務所林務課では次のように説明している。

椎茸抑制栽培とは椎茸が品薄となる十二月から三月頃までに簡単なフレームを使って自出自在に必要時期に椎茸を発生させる栽培方法で一般栽培と異って秋期の自然発生期に入る一カ月前にホダ木を乾燥した物憤小屋に取込み、乾燥状態にし、収穫予定二週間前乾燥した抑制のホダ木を取り出し二昼夜浸水させた後引上げて木づちで木口を二―三回強打する。浸水打木したホダ木を日当りの良い暖い場所に積み重ね濡れむしろをかぶせて目出しを行う。五―六日位でホダ木一面に芽が出てくる。また別に地下三尺―四尺位掘下げた北高南低のビニールをかぶせたフレームを作り、その中に目出ししたホダ木を立込み、フレームの中の温度を摂氏十五度内外に保ち、夜間摂氏十度以下にならないよう管理すると十日位で良質な椎茸が採集出来る。

この方法によると観光土産や盆栽用として必要な時期に生椎茸が収穫出来、椎茸栽培の新しい方法として奨励している。

なお詳細は地方事務所林務課か古座川町高池和歌山県林業試験場または最寄りの林業技術員にたずねるとよい。写真は抑制栽培の椎茸

大漁でホクホク
水揚げ実に1億2千万円

熊野灘マグロ漁業の基地である勝浦港では、一月に入ってから平均五、六隻のマグロ漁船が出入りして活況を見せており、勝浦漁業協同組合では一月中の水揚げを一億二千万円と見込んで阪神方面への出荷に大奮である。

【写真は勝浦港に水揚げされたマグロ】

なお一月十五日の水揚げ実績はマグロシビ七千四百二十七貫で三百三十万七千円の額をあげた。

山火事は明るい村を暗くする

海外に雄飛を
最高移住地はサンパウロ

本郡と新宮市に在住していた県人の昭和二十八年六月から現在に至る海外移住者は次のとおりで、一番多いのはブラジル国サンパウロ州であって、合計五十一家族三百九名となっている。この家族数は渡航費の貸付を受けたもので、実際の渡航者はもっと多くなっており、海外協会東牟婁支部ではこれらの先進者につづいて多くの人々が海外に雄飛されるようのぞんでいる。

【サンパウロ】那智勝浦町五、太田村二、下里町二、古座町二、大島村三、古座川町二、熊野川町二、本宮町一、新宮市十三

【マト・グロッソ】古座川町一、新宮市四

【パラー】新宮市二

【パラナ】新宮市二

【パラグワイ】熊野川町五、本宮町二、新宮市三

【北米合衆国】難民救済―古座川町十三、熊野川町五、本宮町二、新宮市一

派米労務者―那智勝浦町三、太田村一、下里町一、古座町一、大島村一、古座川町一、熊野川町一、新宮市一

宮井橋着工
三月末には完成

熊野川町宮井の宮井橋（延長二百五尺、巾員五尺五〇）の架設工事は一月六日に着工した。本年度は橋台一つと橋脚二つを施工することになっており、三月末完成の予定である。」

町から村から

【新宮市】十二月二、三日―新宮市佐野家畜市場開設▼六、七日火薬類取締講習会（公民館）▼七日生活改善友の会幹部講習会（地方事務所会議室）▼十一日漁業協同組合長会議（地方事務所会議室）▼十二日母子家庭職業補導講習会（地方事務所会議室）▼十七日農業委員会代表者会議（地方事務所会議室）▼十八日蔬菜出荷協議会（地方事務所会議室）▼二十日義肢巡回調整（地方事務所民生課）▼二十六日成牛市（市家畜市場）▼十六日成牛市（市家畜市場）▼一月九日農業共済組合長会議▼十日農業協同組合長会議▼十三日郡肢体不自由者福祉連盟結成大会（地方事務所会議室）▼二十二日乳牛飼育講演会（地方事務所会議室）二十六日成牛市（佐野家畜市場）

【那智勝浦町】十二月十三日新農山漁村協議会（役場）▼同日民生児童委員会（役場）▼十五日人尊講習会（那智支所）▼一月十五日消防団勝浦分団出初式▼二十日色川茶業協同組合創立総会

【下里町】十二月二、三日下里家畜市場開設▼五日慰霊祭（龍蔵寺）

【古座町】十二月一日青善教育（西向保健所）▼七日民生委員協議会

【熊野川町】一月六日消防団出初式▼十一日引揚者連盟熊野川町分会を結成

【本宮町】一月十二日家畜市場開設　写真―那智勝浦町消防団の放水演習

今月の農事メモ

【果樹園芸】常緑果樹（ミカン類）は苗木植付準備に植穴を掘り、粗大有機物（落葉、落枝）などを投入して土壌を改善する。植付直前にあわてて小さい植穴を掘り、植付をすると根の発生が悪くなり地上部の発生も悪い。植穴の大きさは直径四―五尺、深さ三尺以上が理想的である。枯枝の剪定は徹底的にしなければ黒点病の伝染源になる。またカイガラ虫などの駆除のためガス燻蒸を行うことが大切で二年に一回は必ず実施すること。

【蔬菜園芸】ハウス栽培では十二月下旬に播種したものは今月下旬が定植時機になるので、定植の十―十四日前に植傷を少くするために、「ずらし」作業を行うこと。またトンネル栽培では一月上旬に播種したものは二月中旬に移植を行うこと。なお炭疽病や霜菌病などを防除するにはダイセン八処液を撒布すればよい。

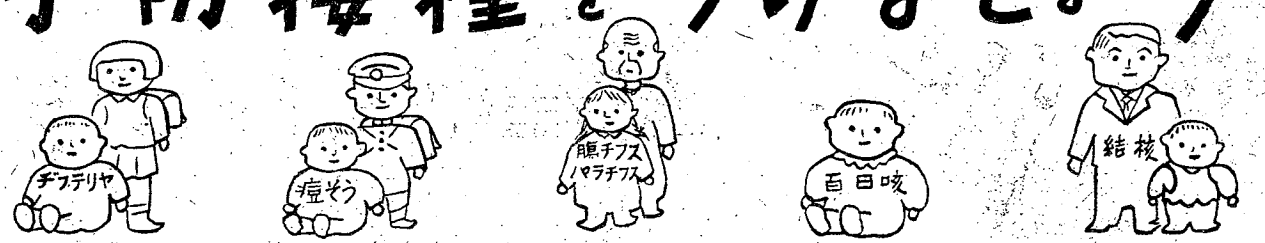
開設7周年記念

3月競輪

1（金）	2（土）	3（日）
9（土）	10（日）	11（月）

発走12時

予防接種をうけましょう



・生後6カ月から12カ月の間
・小学校入学前6カ月以内
・小学校卒業前6カ月以内

・生後6カ月から12カ月の間
・小学校入学6カ月以内
・小学校卒業6カ月以内

・生後3年以上4年未満
・以後60才まで毎年

・生後3カ月から6カ月の間
・その後12カ月から18カ月の間

・生後6カ月以内
・その後30才まで毎年B・C・G接種

くわしいことは市町村役場にお聞き下さい